令和6年 渡嘉敷村議会会議録

第3回臨時会（7月24日）	1日間
第4回定例会（9月11日～17日）	7日間

渡嘉敷村議会

目 次

令和 6 年第 3 回臨時会（7 月 24 日）

令和 6 年第 3 回渡嘉敷村議会臨時会会期日程	1	
出席議員	2	
議事日程第 1 号	3	
日程第 1	会議録署名議員の指名について	4
日程第 2	会期の決定について	4
日程第 3	議案第 32 号 渡嘉敷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	4
日程第 4	議案第 33 号 令和 6 年度渡嘉敷村一般会計補正予算（第 2 号）について	5
日程第 5	議案第 34 号 令和 6 年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第 2 号）について	8
日程第 6	議案第 35 号 令和 6 年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第 2 号）について	9
日程第 7	発議第 1 号 相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書について	10
日程第 8	発議第 2 号 相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する抗議決議について	11

令和 6 年第 4 回定例会（9 月 11 日）

令和 6 年第 4 回渡嘉敷村議会定例会会期日程	15	
出席議員	16	
議事日程第 1 号	17	
日程第 1	会議録署名議員の指名について	18
日程第 2	会期の決定について	18
日程第 3	議長諸般の報告	18
日程第 4	村長行政報告	19
日程第 5	一般質問について	21
日程第 6	報告第 7 号 令和 5 年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	52
日程第 7	報告第 8 号 令和 5 年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	53
日程第 8	諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について	53

日程第9	同意第2号	渡嘉敷村監査委員の選任について	54
日程第10	認定第1号	令和5年度渡嘉敷村一般会計歳入歳出決算の認定について	55
日程第11	認定第2号	令和5年度渡嘉敷村航路事業特別会計歳入歳出決算の認定について	57
日程第12	認定第3号	令和5年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	57
日程第13	認定第4号	令和5年度渡嘉敷村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	58
日程第14	認定第5号	令和5年度渡嘉敷村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	59
日程第15	認定第6号	令和5年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	59
追加日程			
日程第1	議案第36号	渡嘉敷村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	60
日程第2	議案第37号	令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算（第3号）について	61
日程第3	議案第38号	令和6年度渡嘉敷村航路事業特別会計補正予算（第2号）について	63
日程第4	議案第39号	令和6年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	64
日程第5	議案第40号	令和6年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	65
日程第6	議案第41号	令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第3号）について	66
日程第7	議案第42号	令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第3号）について	66

令和6年

第3回渡嘉敷村議会臨時会

第1日目

7月24日

令和6年第3回渡嘉敷村議会（臨時会）会期日程

会期 1 日間
自 令和6年7月24日
至 令和6年7月24日

月 日	曜 日	区 分	日 程
7月24日	水	本会議	会議録署名議員の指名 会期の決定 議案第32号、議案第33号、議案第34号 議案第35号 発議第1号、発議第2号

令和6年第3回渡嘉敷村議会臨時会は
令和6年7月24日(水)午後1時30分に
渡嘉敷村議会議場に招集された。

会期1日間
1日目

議員の出欠別

議席番号	氏名	出欠別	議席番号	氏名	出欠別
1	與那嶺 雅 晴	出	5	新 垣 一 史	出
2	座間味 満	欠	6	當 山 清 彦	出
3	玉 城 保 弘	出			
4	金 城 涉	出			

出席議員 5名

会議録署名議員 4番 金城涉議員 5番 新垣一史議員

職務のため会議に出席した者の職氏名 議会事務局長 宇野昭子

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の氏名

職名	氏名	職名	氏名
村 長	新 里 武 広	観光産業課長	山 城 淳
副 村 長	神 里 敏 明	教 育 課 長	尾 崎 憲 男
教 育 長	金 城 満	民 生 課 長	新 垣 立 徳
総 務 課 長	新 垣 聡	船 舶 課 長	玉 城 広 喜
会 計 課 長	小 嶺 国 士		

終了：7月24日(水曜日)午後2時12分

令和6年第3回渡嘉敷村議会臨時会議事日程

令和6年7月24日（水） 午前10時開議

会議に付した事件は次のとおりである。

（第1号）

日程	事件番号	件名
第1		会議録署名議員の指名について
第2		会期の決定について
第3	議案第32号	渡嘉敷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
第4	議案第33号	令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算（第2号）について
第5	議案第34号	令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第2号）について
第6	議案第35号	令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第2号）について
第7	発議第1号	相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書について
第8	発議第2号	相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する抗議決議について

○ 當山清彦議長

ただいまから令和6年第3回渡嘉敷村議会臨時会を開会します。

本日の議事日程は、お手元に配布した日程表のとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、4番金城渉議員、5番新垣一史議員を指名します。

日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日7月24日の1日間にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。従って、会期は本日7月24日の1日間に決定いたしました。

日程第3、議案第32号、渡嘉敷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

よろしく申し上げます。

議案第32号

渡嘉敷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

渡嘉敷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が公布され国民健康保険税の課税限度額を引き上げると共に国民健康保険税の軽減措置について、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準を改正することとされたことに伴い、国民健康保険税についても同様の措置を講じるため、渡嘉敷村国民健康保険税条例の一部を改正する必要がある。

次のページより資料と新旧対照表を付けております。ご審議のほうをお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第32号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第4、議案第33号、令和6年度嘉敷村一般会計補正予算（第2号）についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ **新里武広村長**

議案第33号

令和6年度嘉敷村一般会計補正予算（第2号）について

令和6年度嘉敷村一般会計補正予算（第2号）を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度嘉敷村一般会計補正予算（第2号）

令和6年度嘉敷村一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千274万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ18億2千914万6千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和6年7月24日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ **當山清彦議長**

これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

○ **5番 新垣一史議員**

6ページ5目の財産管理費の説明と、あと9ページ4目の資料館維持費の説明をお願いします。

○ **山城淳観光産業課長**

3款については、今回委託料、ツルヒヨドリの除草業務と、違いますか？

○ **5番 新垣一史議員**

違います。財産管理費です、6ページ。

○ **山城淳観光産業課長**

失礼しました。

○ **當山清彦議長**

休憩します。

再開します。

○ **新垣聡総務課長**

ご質問にお答えします。主な補正といたしましては、土地の購入費、土地を今回購入をするということで補正を組んでおります。その他備品等なので細かいものの補正となっております、以上です。

○ **尾崎憲男教育課長**

議員の質問にお答えします。教育費資料館維持費に計上しております補正予算につきましては需用費の委託料となっております。需用費につきましては、消耗品と施設修繕費としまして、資料館の開館をお知らせするのぼり作成等を予定しております。また施設修繕費につきましては、資料館内に設置してありましたエアコンの修繕を予定しております。委託料につきましては、減額として資料館運營業務委託料を149万円を減額しております。内容としましては、6月1日より教育委員会のほうへ事務補助員が採用されておりますので、こちらの方を午前中、午後というかたちで資料館の試験的な開館に向けて準備のほうにあたっておりますので、今年度については委託業務を取りやめ、直営で教育委員会のほうで開館に向けて実施したいと思っております。

○ **5番 新垣一史議員**

資料館のほうは今の説明でわかりました。財産管理費の土地購入は使用目的とどちらの場所なのかちょっと伺ってもよろしいですか。

○ **新里武広村長**

場所といたしましては、ピッコロの隣りといいますか、今空き地があります。みそ加工所との間の土地を購入しようという予定で進めております。番地からしますと285番地となっております。用途については、移住者向け住宅であったり、教員住宅ですね、建て替えの時期になっておりますので、そのへんを今検討してまいりたいというふうに思っております。

○ **5番 新垣一史議員**

すぐ何かを建てるという予定ではなくて、ただ用地確保という意味での購入ということによろしいですか。

○ **新里武広村長**

地権者の方から役場のほうにご相談がありましたので、村としても今土地不足となっておりますので、土地の確保ということで相談しましたところ、村にそれでは譲りましょうということで話を進めているところです。

○ **當山清彦議長**

他に質疑はありませんか。

(「休憩」の声あり)

休憩します。

再開します。

他に質疑はありませんか。

○ 4番 金城渉議員

新垣議員と同じく6ページの総務費の財産管理費の説明受けたんですけれども、今休憩中も話があった土地の購入の件なんですけれども、これだけの額の購入を簡単に補正でできるものなのか、これがこれまでの渡嘉敷村の慣例なのか、年度の事業計画に上げて、何を建てるのか、何を目的として購入するのか、令和6年度の予算に組めなかったものなのか、若しくは来年の正規の予算に組めないものなのか。それをお伺いしたいんですが、村長。

○ 新里武広村長

この土地については前から村のほうで購入ができればということで進めておりました。なかなかそれが進まない中で地権者のほうとお話し、さらには地権者の兄弟含めた関係の皆さんとお話をしたら、渡嘉敷村のためであったら渡嘉敷村に土地を譲ってもいいということが1カ月ほど前に上がってきたものですから、当初は9月にこれを計上しようと思っていましたけど、ちょっと早めに進めたほうがいいということもありましたので、今回のこの臨時議会に計上してあります。

○ 4番 金城渉議員

私が質問しているのは計画性、村の行政運営上の計画性というものを確認しているんですよ、地権者の気持ちとかということじゃなくて、これだけ購入するわけですから、土地購入して、次何を建てる、そこも計画にのった上で、通常の年度予算に組んでいって建築費まで計上して実務的な予算の組み方、使い方をすべきではないかという僕の質問なんですけれども、これ村長の匙加減ですかね。地権者が売ると言ったから、じゃあ今予算を組んで、すぐ買いましょうとか、そのように見えるんですけど、計画性がないんじゃないかということですよ。次の計画ですよ、建物を建てる計画まで、立っているうちの土地購入の初段階なのかと聞いています。

○ 新里武広村長

ここの土地の利用については、今後は先ほども申しあげましたとおり、職員住宅の建て替え時期ということと、それと移住者であったりとかですね。そういった土地不足ということで、かなり村としてもお金出る立場が厳しい中で早めに土地を購入していこうということで進めているものですから、当初で購入できれば良かったんですけど、当初はこの土地は購入できなかったということで、しかしながら、その土地を地権者としては友好的に村のほうに使っていただきたいというご相談があったものですから、それを進めていきたいということで考えております。物件については、今後は予算との絡みもありますので、まずは土地を確保したうえで計画を進めていくというふうにしております。

○ 4番 金城渉議員

計画性がないんじゃないかという質問なんですよ。

6月の議会でも移住者等住宅問題が村内では非常に逼迫していると、渡嘉敷にどんどん造っていく、次、阿波連に造りましょう。その中で村長がお答えしたのは議事録にも載っていますけれども渡嘉敷で計画しているんで、また次も渡嘉敷で進めていくと、その計画に入っている案件ですかね、これ、それともだったら計画書を見せてほしいわけですよ。私たちが見れる計画書というのは一番は予算書、予算書に載っていないのは計画に上がっていないということです。さっき僕が言ったのは村長の匙加減で簡単に話が進んでいく、補正組めば買える。次の計画も立てていない。それで行政運営、村民に説明できますか、計画書ない段階で。

○ 新里武広村長

物件造るにしても、まずは土地の確保が先です。土地の確保をしたうえで建物をどういう形で造るか、RCであったり木造であったり、PC工法であったり、それをまた予算要求をしていくということでございます。中長期でわたっているものですから、単年度単年度で直ぐ造れるものではないので、まずは土地の確保ですということでございます。

○ 當山清彦議長

休憩します。

再開します。

他に質疑はありませんか。

(「進行」の声あり)

これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第33号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第5、議案第34号、令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算(第2号)についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第34号

令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算(第2号)について

令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算(第2号)を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第2号）

第1条 令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第2号）は、第2条から第4条に定めるところによる。

令和6年7月24日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「休憩お願いします」の声あり）

休憩します。

再開します。

他に質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第34号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第6、議案第35号、令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第2号）についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第35号

令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第2号）について

令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第2号）を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第2号）

第1条 令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第2号）は、第2条から第3条に定めるところによる。

令和6年7月24日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第35号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第7、発議第1号、相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 3番 玉城保弘議員

発議第1号

令和6年7月24日

渡嘉敷村議会議長 當山清彦 殿

提出者 渡嘉敷村議会議員 玉城保弘

賛成者 渡嘉敷村議会議員 金城 渉

相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書について

標記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第2項の規定により議会の議決を得たいので提出いたします。

相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書

昨年12月、米軍嘉手納基地所属の空軍兵長が、県内に住む16歳未満の少女を車で連れ去り、性的暴行を加えたとして、わいせつ目的誘拐及び不同意性交等の罪で、那覇地方検察庁が起訴していたことが今年6月の報道により発覚した。少女への性的暴行という極めて重大事件にもかかわらず3月27日の起訴から約3か月もの間、外務省・沖縄防衛局及び沖縄県警等は、沖縄県に対し情報提供がなく公表していなかったことも明らかになった。

さらに5月26日、在沖米海兵隊上等兵による性的目的の女性暴行致傷事件が発生し、令和5年1月から令和6年5月末までの間に性的暴行事件がほかに4件存在することが新たに判明した。これだけにとどまらず、今年4日には米海兵隊員による女性へのわいせつ行為の疑いで現行犯逮捕されるなど、短期間でこれだけ性犯罪が続くことに対し、女性の尊厳と人権を踏みにじる蛮行に、県民の怒りが広がっている。

女性に対する性的暴行は、被害者への肉体的・精神的な苦痛を与えることのみならず、人間としての尊厳を蹂躪する極めて悪質な行為であり、日米両国の法と正義に照らしても、断じて許されるものではなく、満身の怒りをもって抗議するものである。

沖縄県民はこれまでも、在沖米軍構成員等による事件・事故にさいなまれ、米軍基地負担の重圧に苦しんできた歴史を抱え、このような事件が発生するたびに幾度となく綱紀

肅正・再発防止及び関係者への教育等を徹底するよう強く申し入れてきたが、またしてもこのような凶悪事件が相次いで発生したことは、米軍の管理体制や隊員に対する人権教育の取り組み姿勢だけでなく、組織の人権意識に問題があると言わざるを得ない。

よって、本村議会は、県民の生命・財産・人権を守る立場から、今回の事件に対し嚴重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 被害者への謝罪及び完全な補償を行うこと。
- 2 被害者への丁寧な精神的ケアを行うとともに、性的二次被害の防止を徹底すること。
- 3 米軍構成員等の綱紀肅正の徹底及び夜間外出の規制など、抜本的かつ具体的で実効性のある再発防止策を県民に示すこと。
- 4 米軍構成員等による犯罪事案については、今後、被害者のプライバシーを守ることを第一としつつ、沖縄県及び関係市町村への迅速な通報ができるよう、日米合同委員会等において調整を行い、確実な措置を取ること。
- 5 米軍構成員等を特権的に扱う日米地位協定の抜本改定を行うこと。特に身柄引き渡し条項を早急に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年7月24日

沖縄県渡嘉敷村議会

あて先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 外務大臣 防衛大臣

沖縄及び北方対策担当大臣 警察庁長官 外務省特命全権大使（沖縄担当）

沖縄防衛局長

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより発議第1号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第8、発議第2号、相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する抗議決議についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 3番 玉城保弘議員

発議第2号

令和6年7月24日

渡嘉敷村議会議長 當山清彦 殿

提出者 渡嘉敷村議会議員 玉城保弘

賛成者 渡嘉敷村議会議員 金城 涉

相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する抗議決議について
標記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第2項の規定により議会の議決を得たいので
提出いたします。

相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する抗議決議

昨年12月、米軍嘉手納基地所属の空軍兵長が、県内に住む16歳未満の少女を車で連れ去り、性的暴行を加えたとして、わいせつ目的誘拐及び不同意性交等の罪で、那覇地方検察庁が起訴していたことが今年6月の報道により発覚した。少女への性的暴行という極めて重大事件にもかかわらず3月27日の起訴から約3か月もの間、外務省・沖縄防衛局及び沖縄県警等は、沖縄県に対し情報提供がなく公表していなかったことも明らかになった。

さらに5月26日、在沖米海兵隊上等兵による性的目的の女性暴行致傷事件が発生し、令和5年1月から令和6年5月末までの間に性的暴行事件がほかに4件存在することが新たに判明した。これだけにとどまらず、今月4日には米海兵隊員による女性へのわいせつ行為の疑いで現行犯逮捕されるなど、短期間でこれだけ性犯罪が続くことに対し、女性の尊厳と人権を踏みにじる蛮行に、県民の怒りが広がっている。

女性に対する性的暴行は、被害者への肉体的・精神的な苦痛を与えることのみならず、人間としての尊厳を蹂躪する極めて悪質な行為であり、日米両国の法と正義に照らしても、断じて許されるものではなく、満身の怒りをもって抗議するものである。

沖縄県民はこれまでも、在沖米軍構成員等による事件・事故にさいなまれ、米軍基地負担の重圧に苦しんできた歴史を抱え、このような事件が発生するたびに幾度となく綱紀粛正・再発防止及び関係者への教育等を徹底するよう強く申し入れてきたが、またしてもこのような凶悪事件が相次いで発生したことは、米軍の管理体制や隊員に対する人権教育の取り組み姿勢だけでなく、組織の人権意識に問題があると言わざるを得ない。

よって、本村議会は、県民の生命・財産・人権を守る立場から、今回の事件に対し嚴重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 被害者への謝罪及び完全な補償を行うこと。
- 2 被害者への丁寧な精神的ケアを行うとともに、性的二次被害の防止を徹底すること。
- 3 米軍構成員等の綱紀粛正の徹底及び夜間外出の規制など、抜本的かつ具体的で実効性のある再発防止策を県民に示すこと。
- 4 米軍構成員等による犯罪事案については、今後、被害者のプライバシーを守ることを

第一としつつ、沖縄県及び関係市町村への迅速な通報ができるよう、日米合同委員会等において調整を行い、確実な措置を取ること。

5 米軍構成員等の特権的に扱う日米地位協定の抜本改定を行うこと。特に身柄引き渡し条項を早急に改定すること。

以上、決議する。

令和6年7月24日

沖縄県渡嘉敷村議会

あて先

米国大統領 米国国防長官 米国国務長官 駐日米国大使 在日米軍司令官
在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事
以上、ご審議をお願いします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより発議第2号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

お諮りします。

会議規則第45条の規定により、令和6年第3回渡嘉敷村議会臨時会において議決された事件の条項・字句・数字、その他の整理を議長に委任することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。従って、本臨時会において議決された事件の条項・字句・数字、その他の整理を議長に委任することに決定いたしました。

これで本日の日程は全部終了しました。

令和6年第3回渡嘉敷村議会臨時会を閉会いたします。

(閉会 午後2時12分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

渡嘉敷村議会議長

署名議員（議席番号4番）

署名議員（議席番号5番）

令和6年

第4回渡嘉敷村議会定例会

第1日目

9月11日

令和6年第4回渡嘉敷村議会（定例会）会期日程

会期7日間 自 令和6年9月11日
至 令和6年9月17日

月 日	曜 日	区 分	日 程
9月11日	水	本会議	会議録署名議員の指名 会期の決定について 議長諸般の報告 村長行政報告 一般質問について 報告第7号、報告第8号 諮問第1号 同意第2号 認定第1号、認定第2号、認定第3号 認定第4号、認定第5号、認定第6号
9月12日	木	本会議	議案第36号、議案第37号、議案第38号 議案第39号、議案第40号、議案第41号 議案第42号

令和6年第4回渡嘉敷村議会定例会は
令和6年9月11日(水)午前10時00分に
渡嘉敷村議会議場に招集された。

会期7日間
1日目

議員の出欠別

議席番号	氏名	出欠別	議席番号	氏名	出欠別
1	與那嶺 雅 晴	出	5	新 垣 一 史	欠
2	座間味 満	出	6	當 山 清 彦	出
3	玉 城 保 弘	出			
4	金 城 涉	出			

出席議員 5名

会議録署名議員 1番 與那嶺雅晴議員 2番 座間味満議員

職務のため会議に出席した者の職氏名 議会事務局長 宇野昭子

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の氏名

職名	氏名	職名	氏名
村 長	新 里 武 広	観光産業課長	山 城 淳
副 村 長	神 里 敏 明	教 育 課 長	尾 崎 憲 男
教 育 長	金 城 満	民 生 課 長	新 垣 立 徳
総 務 課 長	新 垣 聡	船 舶 課 長	玉 城 広 喜
会 計 課 長	小 嶺 国 士		

終了：9月11日(水曜日)午後3時26分

令和6年第4回渡嘉敷村議会定例会議事日程

令和6年9月11日（水） 午前10時開議

会議に付した事件は次のとおりである。

（第1号）

日程	事件番号	件名
第1		会議録署名議員の指名について
第2		会期の決定について
第3		議長諸般の報告
第4		村長行政報告
第5		一般質問について
第6	報告第7号	令和5年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について
第7	報告第8号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
第8	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
第9	同意第2号	渡嘉敷村監査委員の選任について
第10	認定第1号	令和5年度渡嘉敷村一般会計歳入歳出決算の認定について
第11	認定第2号	令和5年度渡嘉敷村航路事業特別会計歳入歳出決算の認定について
第12	認定第3号	令和5年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
第13	認定第4号	令和5年度渡嘉敷村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
第14	認定第5号	令和5年度渡嘉敷村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
第15	認定第6号	令和5年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
追加日程		
第1	議案第36号	渡嘉敷村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
第2	議案第37号	令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算（第3号）について
第3	議案第38号	令和6年度渡嘉敷村航路事業特別会計補正予算（第2号）について
第4	議案第39号	令和6年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
第5	議案第40号	令和6年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
第6	議案第41号	令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第3号）について
第7	議案第42号	令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第3号）について

○ 當山清彦議長

おはようございます。ただいまから令和6年第4回渡嘉敷村議会定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配布した日程表のとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって1番與那嶺雅晴議員、2番座間味満議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から9月17日までの7日間にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。したがって、会期は本日から9月17日までの7日間に決定しました。

日程第3、議長の諸般の報告を行います。

諸般の報告の前に例月出納検査の結果報告について、地方自治法第235条の2第3項の規定により、村監査委員から令和6年6月、7月分、8月分の例月出納検査の結果報告があります。議員控え室に配置し閲覧できるようにしてありますのでご参考にしてください。

なお、諸般の報告についてはお手元にお配りしたとおりであります。朗読は省略いたします。

議長諸般の報告

令和6年6月12日～令和6年9月10日

令和6年

6月12日(水)	令和6年第2回渡嘉敷村議会定例会	全議員
6月18日(火)	例月出納検査	監査
6月23日(日)	沖縄全戦没者追悼式 (糸満市：平和祈念公園)	議長
7月4日(木)	沖縄県町村議会議長会定例役員会 (那覇市：自治会館)	議長
7月12日(金)	県産品優先使用要請行動対応 (渡嘉敷村：役場2階大会議室)	副議長
7月12日(金)	例月出納検査	監査
7月17日(水)	渡嘉敷幼稚園創立50周年記念式典 (渡嘉敷村：幼稚園)	議長・副議長
7月24日(水)	令和6年第3回渡嘉敷村議会臨時会	全議員
7月31日(水)	南部広域行政組合全員協議会・臨時会 (八重瀬町：南部総合福祉センター)	議長

8月8日(木)	沖縄県介護保険広域連合議会運営委員会・全員協議会 (読谷村：沖縄県介護保険広域連合)	副議長
8月9日(金)	第68回沖縄県介護保険広域連合議会定例会 (読谷村：沖縄県介護保険広域連合)	副議長
8月15日(木)	例月出納検査	監査
8月20日(火)	南部地区市町村議会議長会役員会・総会 (那覇市：自治会館)	議長
8月21日(水)	沖縄県町村議会議長会臨時理事会	議長
8月21日(水)	沖縄県町村議会議長会正副議長研修会 (北谷町：ちゃたんニライセンター)	議長・副議長

渡嘉敷村議会議長 當山清彦

これで諸般の報告を終わります。

日程第4、村長の行政報告を行います。

○ 新里武広村長

おはようございます。行政報告の前に一言ご挨拶を申し上げます。去った南海トラフ巨大地震臨時情報については、防災、災害時に本当に役立つ備えを実現しなければいけないことに改めて気づきました。そのためには安心・安全な定住条件の一つとして、防災対策の推進。災害に対する事前の備えや災害が発生した場合において島民をはじめ観光客、外国人等が孤立することを防止し、災害時における安全・安心を確保するために必要な対策を講じる必要があると改めて考えさせられました。

村議会におかれましても防災・災害対策といたしまして議会業務継続計画、いわゆるBCPの策定、議会災害対策マニュアルの作成等をお願い申し上げ、執行部と議会が共に村民の安全・安心に向けて取り組んでいただけますよう今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本定例議会におきましても、村民のためにより議論ができますことをお願い申し上げます。

なお、令和6年6月12日から令和6年9月10日までの行政報告につきましては、お手元に配布しております書面のとおりでございます。なお、朗読は省略いたします。

行政報告書

(令和6年6月12日～令和6年9月10日)

6/12(水)	10:00	令和6年第2回渡嘉敷村議会6月定例議会	議場
6/13(木)	16:00	渡嘉敷村観光大使福本幸子氏委嘱状交付	2階大会議室・村長室
6/14(金)	13:30	県港湾課との検討会議 米須班長、川副技師、(株)沖縄建設技研	村長室
6/17(月)	13:30	沖縄県地域振興協会令和6年度定時総会	自治会館
6/18(火)	11:00	令和6年度第1回沖縄県離島航路確保維持改善協議会	県庁

- 6/19 (水) 令和7年度国庫要請 国交省所管要望 (無電柱化に係る)
 ○内閣府(合同庁舎8号館)大臣室 内閣府特命担当大臣 自見はなこ氏 内閣府
 ○国土交通省(合同庁舎3号館)副大臣 國場幸之助氏 国土交通省
 沖縄県池田副知事、前川部長、西原町長、座間味村長、竹富町長
- 6/22 (土) 10:00 自衛官候補生課程修了式 第51普通科連隊 那覇駐屯地
- 6/23 (日) 11:50 沖縄全戦没者追悼式 平和祈念公園
- 6/24 (月) 13:30 渡嘉敷中学校進路進路講演会打合せ 村長室
- 6/25 (火) 11:30 観光大使キャンヒロユキ氏、ヒロトさん 村長表敬 村長室
 14:00 渡嘉敷村と日本郵便株式会社との包括連携協定締結式 庁舎2階
 沖縄支社長 金成氏、本島南部地区連絡協議会副統括局長 高安氏
 渡嘉敷郵便局長 與那嶺氏
- 6/26 (水) 観光大使 佐藤弘道氏 お見舞い 観光産業課 山城随行 東京都池袋
- 6/28 (金) 12:00 離島地域持続可能推進に関するパートナーシップ協定 沖銀本店
 おきなわフィナンシャルグループ、(株)沖縄電力
 (株)沖縄セルラー
 13:30 阿波連小学校 ハナリ島遠泳 激励応援(神里副村長) 阿波連ビーチ
- 7/1 (月) 10:00 令和6年度第1回慶良間諸島国立公園地域協議会 座間味村役場
 16:30 渡嘉敷村商工会 県産品奨励要請表敬 村長室
 古波蔵会長、普久原経営指導員
- 7/5 (金) 13:20 渡嘉敷中学校 進路講演会 視聴覚室
- 7/9 (火) 10:00 南部広域行政組合総会 南部総合福祉センター
 13:30 第61回南部地区老人クラブ大会 豊見城市中央公民館
- 7/10 (水)~11 (木) 沖縄県町村会 定期総会・町村長行政視察研修 多良間村
- 7/12 (金) 10:00 県産品優先使用の要請活動(沖縄県工業連合会) 庁舎2階
 13:30 JTB沖縄
- 7/15 (日) 16:00 美ら島美化清掃 村内
- 7/17 (水) 10:00 渡嘉敷村立幼稚園 創立50周年記念式典 渡嘉敷幼稚園
- 7/18 (木) 14:00 第151回沖縄県町村土地開発公社理事会 自治会館
 15:00 沖縄県国民健康保険団体連合会通常総会 自治会館
- 7/19 (金) 13:30 沖縄銀行 高橋支店 宇地原支店長、他 村長表敬 村長室
- 7/24 (水) 13:30 令和6年第3回渡嘉敷村議会臨時会 議場
- 7/30 (火) 15:15 令和6年度沖縄県治水協会通常総会 自治会館
- 7/31 (水) 松川正則宜野湾市長告別式参列 普天満山神宮寺
- 8/2 (金) 10:00 用地契約 総務課 大城 土地係同席 中城村
- 8/11 (日) 14:00 琉球フィルハーモニー、ミニコンサート 村中央公民館

8/15 (木)	13:30	北那覇税務署 庄司所長、他 2 人	村長表敬	村長室
8/24 (土)		あはれんまつり (慶良間太鼓同志会)		阿波連小学校体育館
8/29 (木)	13:00	内閣府地方創生推進室 川上主査他、1 人	村長表敬	村長室
		EYコンサルティング 宮下氏 他 3 人		
8/30 (金)		衆議院議員 金城泰邦代議士、沖縄県議会議員	糸数昌洋議員	
		村長表敬		村長室
9/4 (水)	11:30	沖縄県土木建築部 南部土木事務所	村長表敬	村長室
		仲嶺所長、他 3 人		
		※ 渡嘉敷村 (港湾・砂防等) 現場確認視察		
9/4 (水)		沖縄県立看護大学 佐久川教授	学生実習に伴う村長表敬	
9/7 (土)		渡嘉敷村民グランドゴルフ大会	青少年交流の家	
			以上	

○ 當山清彦議長

これで行政報告は終わりました。

日程第 5、これより一般質問を行います。なお、通告順位 3 番、議席番号 5 番新垣一史議員から一般質問の通告がありましたが、本日欠席届が提出されたため、会議規則第 61 条第 4 項の規定に基づき新垣議員の一般質問は行いません。

一般質問は申し合わせのとおり答弁も含めて 60 分以内とします。質問者、答弁者は簡潔にお願いします。順次発言を許します。

3 番玉城保弘議員の発言を許します。

○ 3 番 玉城保弘議員

それでは一般質問を行います。村営住宅についてをメインにしております。この村営住宅、各議員が毎度質問している中で、現在住まわれている方からも少し不平不満があるということなので質問いたします。

まず、村営住宅の入居者間で移動は平等性に欠けるんじゃないかという住民の声が出ております。入居者間での移動を可とする根拠をお伺いします。

○ 新垣聡総務課長

おはようございます。ただいまの玉城議員の質問にお答えいたします。根拠といたしましては、公営住宅法施行令第 5 条第 4 項、公営住宅の入居者が相互に入れ替わることが双方の利益になることに基づき、渡嘉敷村渡嘉敷村営住宅設置及び管理に関する条例第 5 条第 1 項第 8 号、公営住宅の入居者が相互に入れ替わることが双方の利益になることを根拠として公募の例外を認めております。

○ 3 番 玉城保弘議員

条例等でも示しているということですか。因みに、今この入居者がもらっている村営住宅のしおり、このほうも見ながらお話をさせていただきますけれども、飛ばしましょうご

めんなさい。次の質問をしてから議論させていただきます。

2番の現入居者が希望する地域に空きが出た場合、現入居者を優先に空き物件に入居させることができるか。この件はこのしおりには載っておりません。まずこれいかがですか。

○ **新垣聡総務課長**

ただいまのご質問ですが、公募によらず特定の者を公営住宅に入居させること、特定入居ができる場合は、災害や不良住宅の撤去等、公営住宅法第22条第1項及び公営住宅法施行令第5条の各号に列挙する特別の事由がある場合に限られており、その場合を除いては認めることはできません。

○ **3番 玉城保弘議員**

少し分かりづらいですけれども、法というのは「公営住宅法」ということでしょうか。最初に質問しました入居者間で移動ができる、双方の利益が認められる場合、そして村長が認めたという場合に限るということです。今、申し上げたことと全く同じ条件に満たすと思うんですね。ただちょっと違うのは入居者同士ではなく、入居者が希望している場所、双方にはなりませんけれども、捉え方としては、なぜこういうことを申し上げるかと言いますと、やはり地域、学校、仕事もあります、入居者はですね、どうしてもこの場所じゃなきゃいけない。しかし住処がないので今地区が違う所に住んでいるんだというのを満たしてほしいんですね。最後に、村長の認めたという言葉が少しあるんですけれども、村長これはどうですかね、最終的には村長が認めるという解釈なんですか、違いますか、村長いかがですか。

○ **當山清彦議長**

休憩します。

再開します。

○ **新里武広村長**

公募の例外といたしましては、村長が認めるものということはおたっておりません。あくまでも条例等に基づいたかたちで入居がさせられる、移動ができるということでございます。

○ **3番 玉城保弘議員**

公営住宅法の中には確かに書かれておりません。ただ、皆さんの作られたこの村営住宅のしおりの中に、最終的には双方の利益と、最後に「村長がその事情について認めるものにつき」という言葉が書いてあったということで、はい、そういうことです。ですから最終的には村長が最後に認めた場合はいけるんだという解釈になってしまいますよね、そこで今伺いしただけです。あくまでも法的な問題ということで、最終的な結論はできないということですか、いかがですか。

○ **新垣聡総務課長**

先ほど村長が答弁したとおりに公募の例外をもとに決定しておりまして、また平成25年

6月27日に国土交通省の住宅局から出されている文書がありまして、その中で公営住宅にかかる優先入居の取り扱いについてということで、事業主体が独自に特定入居の事由を設定することはできないので注意してくださいという文書が出ているんですね。なので村長が独自で認めるということとはできないというふうに考えております。

○ 3番 玉城保弘議員

法的なことなので、なかなか曲げることはできないわけですがけれども、先ほど申し上げたどうしても、この地区に住みたいというのもいらっしゃるということをご理解ください。

次の質問にいきます。入居者の実態のない世帯が住居の申請のない所帯が多いと住民からの苦情が出ております。入居の実態調査というのはどのように行われているかお伺いします。

○ 新垣聡総務課長

議員ご指摘と同様に村民の方からもそういった声が届いております。現在、年に1回家賃算定にかかる収入申告書の提出を受けてしか確認ができていません。実態調査について実施はしていない状況であります。今後そういった指摘を受けて定期的にそういう実態調査を実施する準備を担当と共に進めているところであります。調査の案としましては、直接その住宅を訪問して確認をすることや、日中ですとなかなかそこにいない場合が多いですので、その場合には文書等をもって回答していただくということなどを考えております。

○ 3番 玉城保弘議員

今の答弁だとこれまではやっていなかったという解釈になりますよね。これからやろうと。そういうことで不満が出ているということですね。

これも村営住宅のしおりのほうから引っ張ってきますと、15日以上使用しないときは、ましてや届け出がない場合は無断撤去とみなすと。もう一つは、15日を空ける場合は一時不使用届けを提出しなさいというようにうたっております。今までにそういうことありましたか、届け出を出した方はいらっしゃいますか、15日以上で。

○ 新垣聡総務課長

私が総務課長になってからは、そういう事例はなかったかと思うんですけれども、以前総務課にいたときに、長期で県外に帰省するとか、海外のほうに仕事で出るという方が15日以上不在する場合に、そういう届け出をしたということは記憶にはあります。

○ 3番 玉城保弘議員

こういった提出書類もない、しかし入居者の方はこれを持っていらっしゃるわけですからしっかり読まれて、どういうふうに調査されているのかなと少し不満があるようです。その方を決して出したい、移動させたいということではなくて、しっかり規則、住宅のしおりに載っているような規則等を守っていかないと周りの方々に不平不満が出てくると。これも住宅難という本村の一番の悩みが起こしたことだと思いますけれども、やはり不平不満が出ないようにしっかりと住宅のしおり、あるいは公営法に基づいてしっかりやって

いただきたいと思います。これからやるということですのでこれ以上質問はいたしませんけれども。

次にいきます。今まで質問したのと一緒になりますけれど、入居者に配布しているしおりの他に皆さんが基にしているのは何かということで、入居条件等の規約とかになりますけれど、他に何かあるのかと。皆さんがしおりを作った基というのは公営住宅法だけですか、他にも何かあるかということです。

○ 新垣聡総務課長

おっしゃるとおりあくまでも法に基づいてしおりは作成しております。あと入居の際に契約として請書をいただいております、その中にもいくつかの注意点、守らなければいけない点等は記しております。

○ 3番 玉城保弘議員

この質問は以前にも、もうだいぶ前ですけど10年以上前にも質問しておりまして、その際に家賃を算定する際に、公営法、そして村にもう一つの何か決まりがあって、それを合算して家賃を算定しているという返事もらったことあるんですね。ですから公営法だけで出しているのか、皆さんにも何か特別なものがあるのかという家賃を算定しているのかということがあったので、他にもありますかという質問でした。それはないと、あくまでも公営法だけでやっているとは、はい、分かりました。

今家賃の話もしました。低所得者向けの住宅ですので、なかなか高所得の方は住みづらい。家賃、所得が基準を超えるということで10万円から14万円という方もいらっしゃる。一般のアパートあるいは住居並を請求いたしますということですけど、14万円というのは一般をはるかに超えているんですね。そういうこともあって、そういった基準、あくまでも低所得だから高所得はしょうがないよという、あくまでも法的な問題ですけど、じゃあ法的の中に特例、そういった家賃に関しての特例はないのでしょうか。何が言いたいのか、各地域によって条件等が違うじゃないですか。村、市、例えば家賃も那覇、渡嘉敷と全く違うわけじゃないですか。そういったかたちの特例は法的にあるんですか。

○ 新垣聡総務課長

ここではっきりとないという返事はできない状況で調べてみたいとは思いますが、公営住宅法の中で家賃の算定方法、計算式がありまして、そこに現在の収入等を当てはめて近傍同種の家賃ということで毎年算定されるようになっております。その中で特例というものを私は確認したことはないんですけども、改めてまた確認してみたいと思います。

○ 3番 玉城保弘議員

ぜひ確認をしていただきたいと思います。どこまでが高所得になるか分かりませんが、先ほど申し上げた14万円というのはあまりにも高すぎますよね。それは地域によつての格差はつけるべきだと思うので、そういった特例がないものかも確認していただきたいと思います。住む場

所がない、ですませられなくて、払わざるを得ないかたちですので、ぜひ確認をしていただきたいなど。

今、しおりの話になりましたから、家賃の、実際にはこのしおり等には載せていませんよね。変な意味で、収入がいくらだからいくらになりますという、基準がなかなか出てこないの、それを実際載せていただきたい。毎回、役場のほうに確認をして書類を書くのでしょうか。その時点でしか分からないということではやはり分かりづらい。公営住宅法であれば、はっきりしているんだったら実際載せてほしいですよ。これはぜひお願いしたいと思います。

今、申し上げたような正確な根拠、実態の調査を、次の質問になっています。正確な根拠や実態の調査の上で公正・公平に住宅行政を運営しなければならないと思います。村長の見解をお伺いします。

○ 新里武広村長

現在、公営住宅は70棟を有しておりますが、入居希望に間に合っていないのが現状でございます。村民の定住の促進と安心・安全な快適な住環境の確保のため、これまで1～4まで議論されましたとおり実態調査をした上で公正・公平に住宅行政を運営してまいりたいと思います。

この件につきましては今年の3月、4月、そういった住民の方から相談がありまして、これまでは収入関係の調査をして家賃を決めておりましたけれど、そういった中にも踏み込んだかたちで調査をする必要があるということで担当課のほうにはお話してあります。今年早い時期に調査をして、住民の皆様、入居希望の住民に対して応えられるように対応してまいりたいと思います。

○ 3番 玉城保弘議員

ぜひ調査をしていただきたい。県の方にも、やはり地域によって条件等が違うわけですから、いろんなことを調べていただき、交渉できることはどんどん交渉して、法律を曲げるということはなかなか難しいことではありますけれども、特例的なこともないかもぜひ調べていただきたい。住んでいる方々が満足していただかないと、せっかく造った村営住宅も無駄になってしまいますので、ぜひ、ここは調査して交渉等をお願いして私の一般質問を終わります。

○ 當山清彦議長

これで3番玉城保弘議員の一般質問を終わります。

次に、4番金城渉議員の発言を許します。

○ 4番 金城渉議員

おはようございます。一般質問通告書のとおり質問いたします。よろしくお願いたします。1番、村長の今年度の所信表明について、これは施政方針です。ご理解いただけますか。それについて伺います。実際どれぐらい実施、実現、現在進行中なのか。大まかな

ここは進んでいますよとか、ここは手を付けましたとかね、代表的なものでいいからちょっと挙げてもらえれば。

○ **新里武広村長**

金城議員のご質問にお答えしたいと思います。現在5カ月が過ぎております。その中で3月に施政方針所信を述べました。その中でおおよそが既に着手しております。その中でまだ先が見えない事業、ハード事業、道路の整備であったり災害復旧であったりというものについては、まだ進捗が見えない状況で、今、取り組んでいる状況であります。今年度目標にしていた事業については概ね着手はしているということでございます。完結はあくまでも今年度末になるかと思っております。その前に終わる事業もありますけど、今、取り組んでいる状況でございます。

○ **4番 金城渉議員**

施政方針は非常に幅が広くて村長のお仕事のすべてというか、あまり幅が広いのでいくつか絞って質問しますけれども、例えば(2)の行財政運営について。財政指数の低さというのは常に監査で指摘されている部分ですけれども、例えばそれを上げる努力というか、今年度上がるだろうという計画、もしくは村長の手腕を發揮して、ここは0.10~0.11ぐらいまで上げるという、上がるだろうというそういう施策というか、この5カ月間で取り組んでいますか。具体的にまず一つ挙げましたけれども。

○ **新里武広村長**

やっぱり財政指数を上げるためにはまず補助金等をいかに引っ張ってくるか。例えばふるさと納税、企業版ふるさと納税をどのようなかたちで引っ張ってくるか。それと収入に対して支出をどうやって抑えていくか。最少の経費で最大の効果を生み出すということが大きなものになっているかと思っております。そのためにはきちんとした事業の分析、よく言われていますPDCAの作成を基に、こういったのはきちんと判断した上で優先順位を決めて進めていくことが大事ではないだろうかというふうに職員の皆さんにも伝えているところでございます。

○ **4番 金城渉議員**

分かりました。私たち事業をやっている個人事業主の感覚とだいぶ違うんですね。要するに私たち会社の経営者というのは、もちろん赤字はつukらない、毎年事業を伸ばして利益を上げて行って社員、村でいえば村民へ還元していくというのが私たちの経営手腕ですよ。今村長がおっしゃったのは、補助金を取ってくる、限られた財源を効率よくつかう、無駄なものを削減していく。ここが僕ら一般人との違いかなと。本来であれば税収ですよ収入。よそからお金をちょうだいともらいに行く、補助金をもらいに行くのも大切かもしれないけれども、まず基本的には自主財源、自分たちでお金を生み出すということが非常に欠けているのかなと、僕ら一般の経営者とは違うのかなと。確かに国は地方にいっぱいあめ玉を送るけれども、それに甘んじすぎているのかなと。

特に今年は観光客の入り、要するに定期船の搭乗者数でも分かるように、かなり事業者は潤っていると思いますね。そこをどう育てて、どう利益を上げさせて、税収に結びつけるかが本来の村長の仕事かなと、今風のね、現代の、と僕は感じますけれども、そのへんの視点の転換、要するに補助金頼り、あるお金を回していくという視点から、自分たち自主財源を稼いでいくという、税収を上げていくという方向に視点を転換していけないだろうか、村長どうお考えですか。

○ 新里武広村長

金城議員がおっしゃるとおりだと思います。私たちの収入源としては交付税等に依存しているところがあります。特定財源、特にご存じのとおり村の財政指数は軟弱、脆弱という場面が今現在見えております。いかに税収を増やすことが、どういうふうを増やせばいいのかというのが大きな課題にはなっておりますが、なかなかこれが増えていかないというのが現状であります。その中においても去年、今年、観光客の入りがだいぶ入ってはきているんですけども、それでもなかなか税収は上がってこないというのが現状でございます。そこにどういったかたちで対策を練れば税収が増やせるかということについては、関係機関等を含めたかたちで、いろいろと調整してまいればというふうに思っております。

○ 4番 金城渉議員

ちょっと高飛車かもしれないけれども、私は一般の経営者からのアドバイスとして、補助金とか補助事業というのは産業を育てるために前倒しの投資なんですよ。そこで事業を成功してもらおう。その後、利益を出して稼いでもらって税収としてバックしてもらおう。これがワンセットなんです。そういう習慣がないのかなと渡嘉敷村に、村長にね、経験値も足りないのかなと、少ないのかなと、そういうビジネスの展開のね。だから旧態依然とした行政の感覚をお持ちなのかなと今のお話でちょっと気になったんですけども、なるべくいろいろ勉強して他の市町村の研修にでも行って、自主財源と地場産業の育成をどうしたら税収、税金を納めてくれるか、そういう勉強に取り組むのも一つの案かなと私からの提案です。

もう一つ、行財政運営で、例えば全庁的な連帯体制、関係機関との連帯体制を強化しながら、要するにICTやAIの導入により業務の効率化を図る、いろいろそういう目標は立てているけれども、実際、役場の職員、業務の効率化等のミーティングだとか、業務に偏った職員が夜遅くまで徹夜しているとか、実際あるわけですよ、今。そういうのをなくすために業務の効率化というのがそこに出ていると思うんですけども、そういうミーティングとか、対応はされていますかね。

○ 新里武広村長

業務の効率化といいますか、DX推進というかたちが国からも示されているとおり、それに向けて人も配置して今現在進めているところでございます。去年に比べますとだいぶ進んできたのかなと。それも担当だけではなくて、全職員で対応していこうということで

協議等々しております。

○ 4番 金城渉議員

今の村長のお答えでは、業務の均等化で、偏りがちだった職員の業務はだいぶ減っているという認識ですか、村長。

○ 新里武広村長

まだ結果は出ておりません。それに向けて今取り組んでいるということでございます。令和7年度を目標にこのDX関係についてはきちんと整理していこうということで取り組んでいる途中ということでございます。

○ 4番 金城渉議員

例えば、分かりやすく具体的に言いますと、総務課ですよ、残業が多いのは。課長、直接関わっているのによくご存じだと思いますけれども、夜遅くまで業務によっては役場に残って残業している方がいる。5時15分には帰る方たちもいる。僕はそこを言っているんですけども、やはり疲弊して最後は人間ですから辞めていきますよね、疲れてね。村長はずっと人材不足なので、お金をかけて建物をこしらえて人を呼ぶとか、まず役場を優先的に人を埋めるという、お金をかけてね、宿舎も全部役場優先にやるんだと方針を示しているわけだから、役場に人が欲しいと。そういうことをおっしゃっているけれども、辞めていく職員の対応というのはされていますかね、なぜ辞めていくんだと。

僕は、募集する前に今いる職員が効率よく仕事できて、時間内で終われる働きやすい環境をつくれれば退職する職員はほとんどいないと思います。楽しく仕事ができれば。そこに偏った仕事や、今村長が説明したのと全く逆行している部分、それが一向に改善されていない。だから疲弊して辞めていく職員が出てくる。そこをもう一度見直すべきじゃないかなと。DXの何をもってDXか分からないけれども、DXという言葉をつかえば仕事が省けるのか、半減するのか、ちょっと僕、理解できないんだけど。実際、直近で起こっている事例を挙げただけでも、そのへんどうお考えですか。

○ 新里武広村長

係によっては金城議員が気をつかっていただいたとおりに遅くまで、あるいは朝早く来て仕事を業務されている課の職員もいます。まず事務の効率と申しますか、課によって5時15分に帰れる課、あるいはどうしても遅くまで残って業務をしている職員もいます。その各課の課題、業務について見直しをしているところでございます。その中で途中の人事等も常に考えながら今進めているところでございます。特に体調等を崩されるのが一番私にとっては辛いことですので、メンタル面も含めて健康面も含めて対応していけるように副村長、教育長、総務課長等々はいろいろ協議をしているところでございます。

○ 4番 金城渉議員

いつも議会終わったら皆さんからお叱りを受けるんですけども、取り組んでいますの答弁で、はい分かりましたって議員終わっていますよねって、よく怒られるんですよ。具体

的にどういう取り組みをされているんですか。

○ 新里武広村長

4月には各課の課題を挙げてきてくださいと。何が問題なのかということをお願いして、各課においては課内会議等を開いた上で、その問題を挙げてもらった上で、課題解決に向けて今取り組んでいこうという姿勢でやっております。

○ 4番 金城渉議員

4月から実際動いていると、運用していると。効果は出ていますかね。

○ 新里武広村長

課内会議等を踏まえた上で、各課の課題等が挙がってきております。その中で業務的にも厳しいと、家庭的にも厳しいところがありますという相談が、現在なされておりますので、その課題解決に向けて、今取り組んでどういう方向で進めていくか検討しているところもあります。

○ 4番 金城渉議員

因みに、4月から何件ぐらい問題提起されています？ 会議の名前は分からないけれどもワーキングチームですかね、その会議で挙がってきた問題点というか課題は何件ぐらい実際ありますか？

○ 新里武広村長

私の耳に入っているのが1件ほどきています。異動させてくださいという話が1件届いてきています。

○ 4番 金城渉議員

これ会議名ってありますか？

○ 新里武広村長

これは課内会議で、課内の課題がどんなのが課題として問題として挙がっているのかというのをとりまとめてくださいということで、任意のことですね。

○ 4番 金城渉議員

じゃあ、村長直轄のヒヤリングと捉えていいんですかね。村長直轄の、村長に直接進言できる会議、任意とおっしゃったから、任意の会議でいいのかな。

○ 新里武広村長

課長を中心にやってもらっていますので、課長の報告を受けて、私のほうで、その対策は考えていこうということでございます。

○ 4番 金城渉議員

じゃあ村長直轄事業じゃないということですね。

なるべく辞めさせないという努力のほうは僕は懸命かなと思いますね。採用するのもしいけれども、家をこしらえてね、村民を二番手において、行政ファーストで行政職員を最優先に入れるんだという住宅を建築して、そこまで手厚く行政に私たちの税金をもってい

ってるわけだから、その前に大切なのは、今いる職員を大切にしておいて辞めさせないというのが僕は順番だと思っています。それを再度村長見直して、働きやすい職場を構築していただきたいと思っています。

2番、観光協会の今年度事業の一部が未執行になったんですけれども、それについて伺いますが、①5月の時点で1千500、600万円の事業が、観光協会が一番大きな事業ですね今年度の、取り下げられていますけれども、どういう経緯なのか、これは担当課ですか、村長かな、お願いします。

○ 新里武広村長

金城議員の質問にお答えいたします。この件については去った6月の定例会でもお話しております。経緯といたしましては、観光協会理事のほうから取り下げのお話がありましたので、そういったかたちで話を進めて協議をしていった上での経緯となっております。詳細については課長のほうから述べさせます。

○ 山城淳観光産業課長

ご質問にお答えいたします。まずはじめに、経緯に関する内容からご説明いたします。令和6年3月14日付、一社 渡観協第49号 一般社団法人渡嘉敷村観光協会代表理事より交付要望についての提出がございましたが、事業については、令和6年度の新年度事業のため新年度以降に改めてご提出をお願いしていただくとともに交付申請書を返却しております。その後、新年度の事業申請提出の前に、令和6年5月31日、一社 渡観協第56号 一般社団法人渡嘉敷村観光協会代表理事より要望していた一部の事業についての取り下げについての文書のご提出がございました。

○ 4番 金城涉議員

事務的な経緯は分かりました。そこから入っていきましょう。一括交付金というのは非常に大きなお金、大切なお金で、まず、この重要性から私の意見を述べさせてもらいますと、渡嘉敷村のお金じゃないですよ、国のお金ですよ。それを沖縄県がちょうど今かな时期的に、もう必至になって県庁内で徹夜もして国に折衝して獲得しに行く、大切なお金ですよ一括交付金。そこを私たちが地方自治体を通していろんな事業をしたいと、事業計画を練って、まずは各自自治体に提出して、そこで承認を得て県に上がっていくと、この事業の内容が承認されるわけですよ。そこで事業に関してはなんの問題もないわけですね、県も承認するわけだから。

そういう経緯で、私が一番気にしているのは、渡嘉敷村内でこの事業を取り下げただけの問題じゃないと。県全体に関わる、例えば各首長が今一生懸命直接東京へ行っているような折衝をしますよね、村長がおっしゃった交付金などの獲得、一生懸命やっていますよ。特に隣の座間味村の宮里村長を筆頭にね。

渡嘉敷村でやっと分けてもらった一括交付金のお金、いとも簡単に5月の時点で、はい中止。僕、直接、県にその説明に行ったんですけれども、びっくりしてましたよ。きちっ

と経緯を説明してくれと言われた。今回宿題を持ち帰ってきていますけれども、きちっと経緯を紙切れ一つで、一部取り下げの資料一つで終わるんじゃなくて、なぜ取り下げたのかという経緯を、きちっと私たちが精査して、検証して、県、国にちゃんと報告すべきだと僕はそういう義務感をもっています。なので事務的な説明を今お伺いしましたけれども、なぜですかね。これ村長、なぜこんな大切なお金、せっかくいただいて1千500、600万円ももらっているのに、観光協会がいつも簡単に取り下げしたんですかね。どう思いますか、村長。

○ 新里武広村長

取り下げは、観光協会のほうから、この事業については取り下げますというお話がありました。これは6月定例議会でもお話したとおりでございます。一括交付金については、村への割り当て、自治体への割り当てというのがありまして、その限度も今年は渡嘉敷村ははるかに超えておりました。基本的には一括交付金は10分の8を国がみると、2割は自治体がみるということではございますが、村の当初では10分の8の交付ではなくて、10分の6、あるいは半分ぐらいの事業もあって、持ち出しが5割という事業もいくつかありました。今現在でも国からの交付限度額をはるかに超えているところ、超えている事業もあります。その中で観光協会におかれましては協会のほうから、この事業については取り下げてくださいというお話がありましたので、そういった取り下げの手続きをしております。

○ 4番 金城涉議員

村長、率とか、そういうお答えをいただくような質問じゃないと思いますよ。この大きな事業を取り下げたことに対して村長はどう思いますか、経緯をどうみていますかと質問しています。

○ 新里武広村長

観光協会の取り下げのお話がありましたので、おそらく観光協会におかれましては、この事業の費用対効果が望めないと、補助金の成果が上がらないもんだというふうに私は認識しております。

○ 4番 金城涉議員

僕も観光協会の会員ですけれども、今の発言は初めて聞きました。ありがとうございます。費用対効果が望めないと判断したのであろうと。これは村長の意見ですよ、であろうという見方ですよ。

○ 新里武広村長

これは観光協会の理事が相談に来られたときに、そういった話をしております。こちらが一方的に取り下げるという話はしておりません。

○ 4番 金城涉議員

村長、一つずつ確認しましょうね。一方的に取り下げるという口調は私は一言もいっていませんよ。内容を聞いているんですよ、村長はどう考えるか、この内容をね。理事がそ

ういうお話をされたんですか、はあ、僕もこれ初耳なんですよ、帰って確認します。

僕が今までヒヤリングした内容では、県は4月1日に交付しているわけですよ、交付決定は、渡嘉敷村に対して。その以前に内示は来ているわけですよ、ある程度の内示は。観光協会のほうから交付決定はまだですかと、何度か担当の職員に問い合わせしているんですよ。けどまだですとか、担当者が決まっていなとかいう返事で、結局、交付決定がされたのかされていないのか、分からないから、申請書は出せないという観光協会側の意見なんです、経緯。確かにそうなんです、交付決定もしていないのに、その交付決定の知らせも聞いていないのに申請書、要望書を出せるわけがないんですよ。そのへんどうお考えでしょうか。

○ 山城淳観光産業課長

今、議員ご質問の中で、ちょっと2番とも関連しますが、事務方レベルでは、先ほどのお話と重複しますが、令和6年3月14日に、一度担当のほうに提出があったということで、新年度予算であるということで、改めて4月以降にご提出をお願いしますということでお話をしております。

先ほどもお話しました新年度の予算の申請の前に観光協会のほうから、これは令和6年の5月31日付けで文書の提出がございました。その間ですね、また最終的には補助金の交付をしておりますが、それが令和6年6月18日付けの申請によって手続きはいたしますが、その間、先ほど観光協会とも、いろいろ事務方レベルになりますが、例えば今回取り下げをする業務について、本当に今回実施できませんかという相談も受けながら、我々も一方的じゃなくて、もし他に事業があるのであれば、また手を挙げる方法もあるのじゃないかといういろいろ協議はしました。

ただ、事業申請にあたって、なかなか差し迫って資料を集めるということも厳しいということもございましたので、今回はこの事業については取り下げますということで、そのまま5月31日付けの文書を受領して、さらに資料を精査しまして、最終的な補助金のお互いの金額も確認をしながら交付決定をしておりますので、そのへんは観光協会ともやり取りはさせてもらったと思っております。

○ 4番 金城渉議員

課長、いま運営補助金の話をしていきます？ 一括交付金ですよ。ちょっとごっちゃになっている。一括交付金、そこまでキャッチボールしています？ 本当に。そうですか。次改めてまた席持ちましょうね。ここで分からないし、僕も、相手もいないと。分かりました。

②、③はまとめて内容入っているので、これはもう終わらしましょうね。

3、高速船について。また出ました。①本来35分で運航すべきだが、経費削減を理由に低速運転を指示しているが、村長ね、燃料単価がいくらになったら35分正常運用ができるのか。デジタル化できる事業計画はもっていますか。

○ 新里武広村長

議員の質問にお答えいたします。まず燃料単価がいくらになったら35分正常運用ができるかの質問に対しましては、燃料単価では私たち判断…、特にいくらになったら35分ということは考えておりません。ただ、デジタル化できる事業計画はもっているかということに関しましては、これは令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率というのがありました。これは令和3年度に受けております。審査報告が監査委員からの審査報告が意見書が提出されております。航路事業につきましては、独立採算の原則により公営企業会計や赤字や借金が大きくなって一般会計に大きな影響を及ぼさないようにというふうに監査委員のほうから指摘がありました。この時は本来、経営健全化の基準が20%という数字がありまして、令和2年度、令和3年度の決算においては経営健全化基準が21.7%と、その時約5千万円余りの赤字を出してしまったと。そういったことがあって経費節減のため経済速度での運航を現在しているというところでございます。

この件については、沖縄県離島航路確保維持改善協議会というのがありまして毎年開催しているわけですが、そこの渡嘉敷分科会において航路計画3カ年計画について協議いたします。6、7、8、あるいは今年は5月にやりましたが、3カ年間、来年以降3年、7、8、9年度の計画を立てました。その中において、この協議の内容といたしましては航路整備計画及び運航計画改善に関する事項等があったり、船舶使用の代替運航便数、ダイヤの変更等、収入の増加、確保に関する事項の協議であったり、経費の節減に関する事項、特に経費の節減に関する事項の中においては船員の給与等ですね、手当て等が含まれ、さらに燃料潤滑油の節減等、あと船舶修繕費、その他経費の節減等の協議が行われております。その中で経済速力で運航することで低燃費による経費節減に努めるということで了解を得て現在に至っているところでございます。

○ 4番 金城涉議員

長々とありがとうございます。令和2年とか、いろんな資料を引っ張り出して辻褄合わせなのかな、全然質問の要点にはなっていないんですけども、県が座長で、この3年計画いろいろ云々とか言ったけれども、座間味村にはそれは適用していないんですか、隣の。

○ 新里武広村長

隣の村のことについては、そちらが赤字を出したかどうかというのは確認しておりません。

○ 4番 金城涉議員

当然コロナ時は赤字ですよ、どこも。その赤字のマックスの5千万円という話をもってきたり、なぜ運用できる船を運用しないのか、不思議なんですよ。そんなに大赤字で県から監査受けるほどのお荷物でもないはずですけどね、そんなお荷物をつくった行政の責任もありますよね、ここまで財政を逼迫させるぐらいのお荷物をつくったという、この船のね。その責任を感じてもらわないと困るんじゃないですか。

例えば、デジタル化をこだわっているんですけども、皆さん毎年予算を組んでいますよね。

単純にそこですよ。去年なんか2千500万円未使用金出していますよね、燃料代で。村長の長々の説明も僕も理解できないんだけど、実際何が言いたいかって、35分にこだわっているというより、この船は性能的に35分では走れませんよね、欠陥船ですよ。ずっと僕はこれを問い質しているんですけどね、欠陥船か欠陥船じゃないか。村長は一貫して欠陥船じゃないと、35分で十分走れる船だと言い続けて、僕は、いやこの船は欠陥船だと、35分では走れませんよと。なぜそこにこだわるかという、対価ですよ売価、15億円の価値がないと僕はいつているんですよ、欠陥船だから。そこは前村長の話。

今回僕が現村長に言っているのは、国の補助金をつかって買い取りしてもらった。その時も正規な単価で申請してるわけですよ。僕はその時点から何回も言っています議会でも。この船にその価値はないと欠陥船だと、そこも突っぱねて、村長はいや問題ないと定価で購入している、その定価を国に申請している。僕はそれは虚偽だと思っているわけですよ。国に申請した時点で、この船欠陥船だから、そんな15億の価値ありませんよと僕思っている。そこですよ問題は、村長どう考えですか。

○ 當山清彦議長

休憩します。

再開します。

○ 新里武広村長

これまでも答弁したとおり、問題はないというふうに思っております。

○ 4番 金城涉議員

この話何年も続けているんですけども、島の中でいろいろ噂も立つけれども、ここでちゃんと僕のちゃんとした意見を言いますけれども、要するに欠陥品を買わされて、正規の値段を払う、僕はどこに利益が出るかという話ですよ。僕は村民の利益を求めている。村民の利益の立場に立って僕は議員として村長に質問しているわけですよ。村長は売った側売り主、離海振ですよ。離海振の利益側に立って答弁して僕と対峙している。これをきちっと村民の皆さんに伝えたいわけですよ。僕は村民の利益の立場に立って村長に質問している。村長は売った側の離海振の利益を保護するために一生懸命頑張っている。それをはっきりさせたいわけですよ、議会で。というのは欠陥品だから、普通個人の車買ったならクレーム出して突っ返します。若しくは代車が来る、単純にその話ですよ。村長はいやいや35分で走れるんだ35分で走るということは、巡航33ノットですよ。マックス35、6ノット、この船はでないと言っている造船場がはっきりと言っている証明しているわけですよ。1年以内に、1年のドックで改修すると、そこまで造船場も欠陥と認めているのに、かぎらず村長はずっとこの調子でいつている。村民の利益というのは、買い取り時ですよ、買い取り時、村も負担しているわけですよ、100パーセント国の補助金じゃないこれは、5億7千万かな、ちゃんと離海振に話しをして、ペナルティーを出して減額してもらいなり、なんなり弁償してもらい、そして原価を落とす。売価を落とす私たちの負担を減らす。それが村民

の利益ですよ。それを一切今まで3年間突っぱねて、村長は離海振の側に立っていや大丈夫だと正規のお金を払うのは当然だと、それを突っぱねてきた、そのかたちを今皆さんに伝えたいわけですよ、僕の口から、いろんな噂が立っているから、村長はどう思いますか、村民の立場に立っているつもりですか。

○ 新里武広村長

はい、当然、村民の立場に立って、国から5億6千万ぐらいいただいて購入したということでございます。そこにおいて特に一番私が気にしているのが船舶の航海の安全確保ということに常に気にしております。この船が欠陥船という、ちょっと根拠がわかりませんが、もしそういうことがあれば、国も当然、この船の運航については認めないだろうと、その都度、清潔ドックであったり、中間定期のドックにおいて、検査官が検査して始めてオーケー貰うわけですので、欠陥船だというふうに認識は全くございません。

○ 4番 金城渉議員

欠陥船というのは沈没するおそれがある欠陥船という考えですかね。オーダーした速度、オーダーした仕様、こっちが、仕様書で離海振が了解します、売る側がね。了解して単価を出します。お互いが合意して船は来るわけですよ。僕が欠陥と言っているのはスピードに対してですよ。沈没するとか、そういうことではないですよ、村長スピードです、ご理解できますか？

○ 新里武広村長

先ほど合意という言葉がありました。この船が就航したときには、村と離海振あと造船場等々が合意したうえで、この船を就航させたというふうに認識しております。それが合意がなければ当然運航、就航はできなかつたものだと思っております。そこで村、離海振あと造船場と合意の上でこの船を取ったということだと私は認識しております。

○ 4番 金城渉議員

契約時に合意したんですよ、契約に合意したんですよ、契約合意ですよ。で造ってきました、降ろしました、就航しました、スピードがでません、そこを欠陥というんですよ。合意した、造る前に契約上の合意はしました。でもできてきた物は合意したスピードじゃありませんよねと、そこが問題ということですよ、村長どうぞ。

○ 新里武広村長

この船の受け渡しは泊港でされたかと思っております。そのときにおいても仕様書等も読み合わせをされたのかなというふうに思っております。その中でオーケーがでたから村としては、この船を取ったものだというふうに思っております。ただし、スピードは確かに持ってきたときにでてませんでしたという報告を受けて、あの当時、私監査でしたので監査からも指摘して、スピードがでていないものについては、どうかたちで補償しますかと、1年目の補償ドックにおいて改善しますということで1年後の補償ドックにおいて、これは改善されたというふうなかたちで通知が来ておりましたので、このへんについて

は改善されたというふうに思っております。

○ 4番 金城渉議員

僕は今読み上げようとしたことを村長が先におっしゃったんで、要するに当時監査で昨年度の議会では、そういう答弁をされているんですよ。当時、私が監査でしたと、1年後のドックでと、その次の言葉ですよ、1年後のドックで修繕確認して監査員としてオーケーしたんですか。

○ 新里武広村長

担当課の方から改善、あるいは、これは担当課及び造船場の方から、あと離海振の方からもそういった文書が届きましたので、それでもって改善されたものだというふうに認識しております。

○ 4番 金城渉議員

書面をもって監査員として監査オーケーという、監査員じゃなくて監査事務局で非常に厳しい事務局長でしたよね、監査の。村長の得意な部分で。改善されていないんですよ、村長は監査員として書類を見て、皆さんの書類どの書類を見たかわからないけれども、未確認のまま、監査事務局長としてオーケーしたという今のお答えでいいんですね。書類上の確認で実際の運用確認はしていないということですよ。

○ 新里武広村長

私は監査事務局、監査員がお二人いて、その中でその船に実際乗って計器を見て何ノットでているとか、そういったのはやっておりません。船舶課の方から上がってきた資料でもって改善されたものだというふうに思っております。あと金城渉議員におきましては、これ乗ってちゃんと確認されたんでしょうか。

○ 4番 金城渉議員

今の質問ですけど何を聞いているんですか。僕に何を聞いているんですか。もう一度お願いします、最後の。

○ 當山清彦議長

休憩します。

再開します。

○ 4番 金城渉議員

いろいろ何年もこの話、僕も質問してきているんですけど、僕は欠陥船だと言っている、要するにスピードがでない部分に対して欠陥船と言っている、村長はでるんだと、ただ理由は燃料をセーブしているから速度を落としているんだと、もうそろそろけりつけましようよ、この話に。フェリーマリンライナーあるんだから1カ月でいいですよ、35分運航やってみましょう。そうするとほら金城渉お前とぼけたことぬかしやがってと言えるんですよ。お前が欠陥船と言っていることは嘘だと、逆に35分で走れない運用できなかつたら村長あなた責任とってもらいますよ、今の議会で答弁全部、一度やってみましょう。本来で

すよ35分で運用できる2世として、前回の初代は運用できたわけだから、同じ条件で造っているわけですよ、しかも金額は増額して、年間の燃料経費も予算書の計上はアップして4割アップかな、これ、そのつもりで造っている船なんだから1カ月燃料かかったとしても県は何も指摘しませんよ。村民も何も言いません。燃料費が高いからと1カ月使ったぐらいで、増額したぐらいで1カ月、一度やってみましょう、1カ月、走れるというのを証明してほしいんですよ、そしたら僕も黙ります。村長どうですか。

○ 新里武広村長

この件については、少し検討してから回答したいと思います。私だけで決めることではないと思っておりますので。

○ 4番 金城渉議員

最後にちょっときつい言葉書いているけれども、僕がこの質問、現場の職員から、この船走らんよということを知ったと、議会で質問したときに、即村長は現場船に行き、誰がちくったかと犯人探しをしているんですよ。村長のそのときの答弁は、その後の僕が指摘したときの答弁では、いやそんなことやっていないよと言うんだけど、実際職員の中から時間がたてばいろんな話が漏れてきて、ある意味職員に村長箝口令しました？ 僕に会うとか、許可なくしゃべるとか、僕に対して、僕のヒアリングを一般職のヒアリングをじゃましましたか。そういう意識はありますか。

○ 新里武広村長

そういった意識はないです。

○ 4番 金城渉議員

じゃあ無意識にやったということでもいいんですか。

○ 新里武広村長

はい、無意識にやった覚えもありません。

○ 4番 金城渉議員

最後に時間ぎりぎりなので渡嘉敷村役場に村長、公益通報のできるシステムだとか、例えば内部告発のシステムだとか、そういうものは設けていますかね。

○ 新里武広村長

そういったことはないようです。

○ 4番 金城渉議員

ちょっと時代遅れですよ、早めに設けてくださいよ、公益通報、これは法律で保護されている部分ですよ。今、兵庫県とかいろいろ騒いでいる、近くでは南城市もこういう時代ですよ、村長。公益通報、これは何もちくりじゃないです。さっきの話に戻しますが、最初の職員が安心して仕事できる公平公正な行政づくりというのを村長うたっているわけだから、それを早めに構築して、いろんな話が愚痴ではなく、ウラジャグワでの話つぶしにもならないように、公益通報を保護するような行政システムも早めに構築してください

い、以上です。

○ 當山清彦議長

これで4番金城渉議員の一般質問を終わります。

休憩します。

再開します。

次に1番 與那嶺雅晴議員の一般質問を許します。

○ 1番 與那嶺雅晴議員

通告書に基づいて4点ほど一般質問をしていきたいと思えます。まず1番に環境問題でございませう。集落内の屋敷の、具体的に言うとな字渡嘉敷291番地と336番地は条例を守れていないような感じがしてございませうけど通告されたかどうかを伺いたたいと思えます。

○ 新里武広村長

通知はしてございませう。詳細については民生課長のほうから答弁させませう。

○ 新垣立德民生課長

では議員の質問詳細については僕の方からお答えしたたいと思えます。字渡嘉敷291番地の所有者へは令和6年2月19日付けで適正管理について通知をしてございませう。また字渡嘉敷336番地の所有者へは令和3年9月6日付けで同じく適正管理について通知をしてございませう。字渡嘉敷336番地に関しては3年間通知等ができてございませう、近隣住民の方々にはご迷惑をおかけしてございませう。申し訳ありませうでした。今後、空き地空き屋を再調査し、早急に所有者へ適正管理について通知をしてまいりませう。

(「休憩」の声あり)

○ 當山清彦議長

休憩します。

再開します。

○ 1番 與那嶺雅晴議員

この291番地に関しては4年ぐらい前は一応は整備はして、それはたぶん通告がいったので整地したんじゃないかなと思えます。今年になってからあまりにも見苦しいもんだから聞いてみたら、業者は見積書は出したと、けど何の返答もなかったというのが291番地の情報でございませう。これ今課長がおっしゃったように、この336番地あれは見苦しいという限度を過ぎてございませう。実際、その家の形さえ見えていないんです。村長に聞きますけど、これ、私が一般質問してから現場を見たことありませう？

○ 新里武広村長

この一般質問が上がる前から現場は気になっている場所でしたので見てはございませう。

○ 1番 與那嶺雅晴議員

村長、気になるんでしたら、そのような行動を取るべきじゃないですか。これね、条例の中で、例えばそこの空き屋敷の雑草が数字的に例えば1mなったら通知するの、それ

とも見た目で見つともないなという段階で通知するのか、そこらへんもし基準があるなら教えてください。これ課長でいいですよ。

○ 新垣立德民生課長

議員がおっしゃった基準というのは特に設けてはいないんですけれども、村で渡嘉敷村美ら島づくり条例という中で見回り等が定期的に行っておりますので、その際にこういった雑草等が生い茂ったら通告しましょうかということで案内はしています。そういった1mとか基準は特に設けていません。

○ 1番 興那嶺雅晴議員

今課長の説明で、要するに見苦しくなったらもう通知するということですよ、そういう理解でよろしいですよ。これね、先ほど課長もおっしゃったようにね、美ら島で島をうっているわけですから、ああいう環境のもとでは美ら島という言葉は使えませんよ。ある意味では336番地においては通知はしたけど何の連絡がないということはもっとしつこく私はやるべきだと思う。自分たちはこの島に住んでいないからどうでもいいというような考えられたら大変迷惑ですよ。これは向こうからどういった対策をするのか返事がくるまでしつこく出してください、これお願いします。

次、教員住宅についてでございます。管理が全くされていないと思うがという質問しております。これ教育長に質問していますが、コンクリートの耐用年数というのは60年です。一般的には60年と言われております。今の皆さんの教員住宅に対する管理はほとんど40年で取り壊しております。これが現状です。それは何かということですね、たぶんこれも目で判断していただいぶ傷んでいるようだから取り壊そうというこれ一般でしたらね、この60年の間に外装なりの塗装して、やっぱり耐用年数少しでも伸ばそうという経緯がある、いままでほとんど40年間の間で何とか壊してまた新しくなるんだけど、これ実際、今、私中は見たことないんだけどね、リフォームとか、そういうのがされているのかね、先生方にも3年間いますけどね、快適な環境のもとでこの島に住んでもらいたいということがあってこういう質問をしているんですけど、これ例えば築30年になったら1回は塗装をやるとか、そういう計画は全くありませんか。

○ 金城満教育長

議員の質問にお答えしたいと思います。今議員がおっしゃるとおりコンクリートの耐用年数は60年とおっしゃっておりますけれども、これはいろんな環境によって先ほど40年だったらコンクリートの劣化状況とかそういうのも含めて、私たちは長期整備計画で建て替え計画というのを持っております。その中で長寿命化というものがあります。長寿命化を図ってそういう外壁塗装も含めて、じゃあ綺麗な景観を保つ外から見てですね、そして先生方の居住空間中に住んで快適な生活を送るためにどうしたらいいかということも、これについてもその都度、私たちとしては対応しております。教職員の皆様からですね、トイレの水の流れが悪いとか、あるいは畳が少し黒ずんでいるとか、そういうのがありまし

たら定期的にしっかりと改善をしております。そして雨漏り等があったら雨漏りがあつてとても住めないよというのであれば屋上防水とか、それも含めて取り組んでいるところあります。その中で外壁塗装をどうするかということについては、これは長寿命化の中で大規模改修というのが計画されておりますので、そちらで検討することになりますけれども、いずれにしても大事なのは教職員の先生方が基本3年間住み続けられる居住空間を確保、快適な不便がないものを確保するというのが大事ですので、それについては私たちとしては、その都度取り組んでまいりたいというふうに考えております。

○ 1番 輿那嶺雅晴議員

今ね、教育長、私が聞いているのはね、確かに教育長がおっしゃったのも立派なことですよ、そういったリフォーム的なこともね。私が言っているのは、外壁に関しての塗装の計画はあるかどうかということですよ。

○ 金城満教育長

外壁の塗装についての計画については先ほどちょっと触れましたけれども、長寿命化計画の中で長寿命化計画というのは全体、耐震とか大規模改修になります。これについてはかなりの高額な経費がかかりますので、私たちとしてはこれはその都度はまずできません。これも計画に入れて今後具体的に申し上げますと、令和9年度以降に長寿命化計画の今整備に向けて取り組むようなかたちで今みておりますので、その中で併せて外壁の改修塗装ですね、それを含めてできるかどうか検討してまいりたいと考えております。

○ 1番 輿那嶺雅晴議員

今の教育長の答弁である程度のことは理解できました。できるだけ先生方にもそういう環境のもとで精一杯お仕事していただけたらありがたいなと思っております。これも教育長ね、東と西とだいぶ耐用年数違います。東の方はどっちかという塩害が激しい分だけ劣化等もひどいです。そこらへんもきめ細やかに配慮していただけたらよろしいかなと思います。

3番いきます。全国学力テストについてでございます。これも新聞を見るのもいやなほどですね、毎年沖縄が最下位です。特に今年は最下位の中でももっとも酷いと小学6年生、中学3年生の結果が沖縄県は最下位の中でも最も今までの学力テストを実施した中で最もひどいというふうに報じられています。うちの島の子どもたちは全国の基準に達しているのかどうかですね。それをまずお聞きしたいと思います。

○ 金城満教育長

議員の質問にお答えいたします。今議員がおっしゃっているとおり新聞報道でもう既に公表されております。沖縄県が中学校の国語、数学については最下位。小学校については1科目は最下位ではないのですが、もう一つ国語と数学1科目は最下位というふうに新聞で報じられております。その中で私たちの小・中学校がどうかということについては、この場で私たちの6年生、中3の正答率でポイントで示しておりますけれども、それについ

ては申し上げることは差し控えさせていただきますけれども、結果から言いますと小学校の平均正答率が県平均に比べまして小学校は結果として下回っております。それから中学校については平均正答率が県平均を上回る結果となっております。

○ 1番 輿那嶺雅晴議員

今小学校が県の平均より下回ってるということです。このことに関して教育長ね、学校側とそれなりの対策等といいますか、そういったのを協議されたことがありますか？

○ 金城満教育長

はい、全国学力学習状況調査につきましては、去った校務研究会のほうでも先生方と協議をしております。細かい分析については各学校で学力向上の担当の先生がやっておりますので、その結果を今年度の結果を踏まえて、どういう対策で基礎学力の向上ができるかというのは学校のほうでも既に進めております。継続授業改善も含めて、継続しつつ、そして他にまたいろいろやることができるかどうかについては、学校でその都度、先生方で協議しておりますので、教育委員会としてこれを支援できるものがあれば、例えば算数検定とか、国語の漢字の検定とか、支援をしておりますので、一部助成金を出しておりますのでそういうのも含めて、基礎学力が向上するように、また来年の成績が向上するように教育委員会としても取り組んでいきたいと思っております。

○ 1番 輿那嶺雅晴議員

今教育長がおっしゃったように、学校側とも別に協議しながら、たぶん前は小学校も中学校も県の平均よりは上でした。今年になって私も正直いってびっくりしておりますけれども、小学校が平均に達していないということはとても残念なことではありますけど、再度、先生方とも協議しながら、少なくとも県の平均より上回るように努力してもらえたらありがたいなというふうに思っています。

次いきますけどね、何か今回私の一般質問はみんなほとんど教育長になっていきますけど、別に教育長をいじめようと思って意識的にやっているわけではありません、たまたまです。幼稚園の給食についてでございます。これはたぶん私の記憶では5年前にも同じ質問をしております。そのときには前向きに検討していくという、これ何で週に1回かということしか、告示していないんですけど、逆に言えば、なぜ月から金までじゃないのかというの、この週に1度なのかという言葉の中には私なりに含めているつもりでございます。これはまさに子育てをしている家庭にとっては切実な問題だというふうに私は思って改めて取り上げております。その中で5年前にも聞いたんですけど、今の週に1回というのは1回しか実施されていないというのは何か特別な問題等があるのかをお聞きしたいと思います。

○ 金城満教育長

質問にお答えします。特に今幼稚園の給食の提供が週に1回とやっていることに対して特別な事情というのはないというふうに認識をしております。幼稚園給食については、ち

よっとさかのぼりますけれども昭和56年5月新園舎の保育開始に併せてスタートしております週1回ですね。その1回、今現在火曜日にしておりすけれども、火曜日をしているというのはちょっと、なぜ火曜日かというのはちょっと今調べているところでありますけれども、この給食週に1回したというのは幼稚園の食育教育の中で子どもたちにおいしい給食を食べてもらおうと、要するにそれ以外は弁当週4日弁当ですので、暖かい給食を食べてもらおうということと、あと給食というのが給食の準備から片づけまで、幼稚園の園児のみなさんもしっかりやってもらいましょうということの意味合いも含めて、週1回給食が提供されているというふうに考えられます。ということでこれから、この後議員が何で週1回しかできないのと今に至っているのという話なんですけれども、そこから繋がって現在に至っているというようなかたちで、私たちは認識しております。

○ 1番 輿那嶺雅晴議員

教育長、さっき私が言ったようにね、これは子育てしている方々の切実な思いです。毎日あってほしいと保育園はありますよね、小中学校もあります。今教育長がおっしゃったようにね、給食に対しての認識度といいますかね、幼稚園のときにもこういう食事を大事にして残さない片づけ等もそれを学ぶための週の1回かと思えますけど、どうも私に言わせると、何か給食の準備等が大変だからというふうな、今教育長がおっしゃったような立派な理由じゃないと私は思っています。これ私なりに複数の方に聞きました本当に切実な思いだから、できたら助かると、週に5回あったらね、とっても助かるということでした。

村長の6年度の施政方針の中にも子育て支援の中に関していろいろおっしゃっています。きめ細やかなことに配慮していくと、給食問題に関してはね、県も来年度は国が無償化にならないもんだから給食に対してね、沖縄県は来年から中学校においては給食費を半額にするというふうに報じられています。給食問題というのは子育て支援、少子化対策に私は寄与していると思います。でも実際ね、今この子育て支援とか、少子化対策に関しては私に言わせるとまるで借りてきた言葉にすぎないと、何の対策もしていないじゃないと。村長それに関してはどう思いますか、もう一度言います。この言葉は借りてきた言葉にすぎないよ。今から座間味議員もね、施政方針に関して通告されてますけど、これは村長自体も、かなり施政方針に関しては述べていますよ。でも私その中で一行だけ、きめ細やかな配慮をすると、どんな配慮がきめ細やかな配慮かお聞きしたいと思います。

○ 新里武広村長

先ほど教育長も答弁いただきましたが、私の施政方針の中でも幼稚園の完全給食に向けて今年度から取り組んでまいりますという施政方針、所信を述べております。その中で栄養バランスのとれた、さらに安心安全な給食の提供と、あと施設の問題、施設の管理や食中毒防止等徹底した衛生管理を努めた上で、幼稚園の完全給食実施についてもっていききたいというふうに考えております。それもいきなり週5日だとかなり調理場のほうも幼稚園のほうもとまどいがあるだろうということで取りあえず週2回から進めていきたいと思います。

うことで、担当課のほうには話しており、今現在それに向けて取り組んでいるというふうに思っております。当然子育て支援については、とても大事な重要なことだと思っておりますので、それをみんなで協力しながら取り組んでいければというふうに思っております。その中でいくつか幼稚園給食を実施するにあたっては、これまで幼稚園は2年保育でした、これが3年保育に変わって発達の段階によって食事の提供の仕方もだいぶ変わってきたのかなということがあって、今いろいろ研究してもらっているところでございます。

調理につきましても現在5名の調理人は確保しておりますけれども、慣れ不慣れ等々もありますので、そのへんもきちんと解決したうえで幼稚園の給食週5日ですか、それに向けて取り組んでいければと、それも段階的に取り組んでいければと、今準備しているところでございます。

○ 1番 輿那嶺雅晴議員

今ね、村長がおっしゃったとおりね、私もある父兄にね、週1回じゃなく週2回でもできるように、今回、質問あげたいと言ったら、週1回も週2回も同じだと、そういうふうなある父兄から声がありました。できたら週5回にしてほしいと。今ね村長がおっしゃったようにね、少し希望的な言い方もしていますけどね、何といいますか職員の不慣れの問題、それは人採用したら可能なことであります。その人を育成するののひとつの方法でしょう。その給食センター自体の機能の問題、これは週に1回できるわけだから特別な何か道具をリースしてやっているわけでもないわけだから、週1回できるということは週5回もできますよ、どうですかね教育長、この問題ね、私も信念をもって議員生命をかけてこれ解決したいなと自分でも思っていますけどね。今、教育長のさっきの答弁では、可能性が全くゼロじゃないような答弁でしたので、改めて聞きますけど、これはやろうと思ったら実現できることですか。

○ 金城満教育長

それに向けて、今進めているということでございます。先ほど村長からも答弁がありました。但し給食の提供は、調理場で喫食数を毎日5名の調理員が作っておりますので、その先ほど言った熟度の問題があります。喫食数を増やすということはそれなりの体制がしっかり基盤を固めて衛生管理もしっかりして安心、安全なおいしい給食を作るというのが基本前提でございますので、それに向けて最終的には幼稚園の完全給食というのを目指しますけれども、まずは週2回から私たちとしては取り組んで、そこで安定的に給食を提供できる体制が整った後に完全給食週5日の給食に移行するというかたちで進めていきたいというふうに考えております。

○ 1番 輿那嶺雅晴議員

教育長、但しはないですよ、この問題に関しては。村長にもおっしゃったように、教育長もおっしゃいますけどね、週1回できるんだったら週5回できます。これね、絶対私に言わせると少子化対策、子育て支援に結びつくと思いますので、この言葉がさっきから言

っているように、借りてきた言葉にならないように、これ12月にもまた改めて一般質問します。最大の努力をしてください。

議長これで私の一般質問を終わります。ご答弁ありがとうございます。

○ 當山清彦議長

これで1番興那嶺雅晴議員の一般質問を終わります。

休憩します。

再開します。

次に2番座間味満議員の発言を許します。

○ 2番 座間味満議員

お昼終わって眠たい時間だと思いますけど私にちょっと耳をお貸してください。それでは通告書のおり一般質問に移らせていただきます。

まず最初に1番ライナーのバースの件についてなんですけど、那覇のバースの日よけの在り方について伺います。我々ですね、夏場、実際、私も船もいっぱいしていますので、早めに行って並んだら日よけも何もないので、とても暑いですよ、本当に脳までくるぐらまでの暑さで、特に年寄りには耐えられないと思うんですよ。そこで村民の方からも話がありましたように、どうかそこのライナーの乗り口の所に仮にテントでもできないのか、これは私は通年通してとは言いません。観光シーズン、ゴールデンウィークから9、10ぐらいまでできないのか、そのへんお聞きします。

○ 新里武広村長

ただいまの満議員の質問に対して、これについては観光客の増加に伴って晴れた日、あるいは雨天時ですね、何とか対応していかなければいけないというふうに考えていた時でしたので、この詳細については船舶課長のほうから答弁させたいと思います。

○ 玉城広喜船舶課長

議員の質問にお答えいたします。議員の質問は泊港、北岸ですね、発の高速船の乗船客待ちの場所の日よけができないかとの質問と理解をしております。設置については検討したいと考えておりますが、待合所から道路を横断するような設置はなかなかできるものではないので、チケットを回収するスロープ入り口から、どれだけ延長できるかは私も現場を見ていませんので、設置ができる方向で検討していきたいというふうに考えております。

○ 2番 座間味満議員

これですね、課長、私が言いたいのは、事務所がこの道またいでは絶対できませんよ、車が通りますから、私が言っているのは乗船口から縦に前のライナー第一交通の所、今第一交通の所まで並んでいるというふうな話もお聞きしたんですよ、簡易のテントでかまいませんので、確かに大変だと思います。台風が来たら取ったりいろいろあると思うんですけど、これしかし熱中症でも起こされたら大変なことになると思いますので、簡易のテン

トでかまいませんので、ぜひやってもらいたいと思いますので、このへん簡易できますか。

○ 玉城広喜船舶課長

質問にお答えいたします。向こうの港湾の管理の方は那覇港管理組合ということが管理をしております。まず最初はそこと調整を図りまして、確かに構造物とかになりますとなかなか許可等おりのものも厳しくなると思いますので、今議員のおっしゃるとおりタープテント等を利用して、日よけ対策ができないか、船長含めて協議をして設置できる方向にしていきたいと思います。よろしくお願いたします。

○ 2番 座間味満議員

課長、私も今言おうとしたんですよ。管理組合と確かにフェリーの停める所バース那覇港、県の財産ですよ、これ管理しているのが組合ですよ、だから組合と相談してから言おうかなと思ったんですが、課長の方から答弁がありましたので、これを来年に向けて早急に、来年とは言わず直ぐ早急に相談して、あそこがちょっと無理と言うんだったら次の対策を考えればいいわけですから、これ早めにやるようにだいたい何月頃までにやれそうですか、詳しくお伺いします。

○ 玉城広喜船舶課長

質問にお答えいたします。今ですね、はっきりとした答えができないのは那覇港管理組合と調整がございますので、ただ議会終わりましたから早々に組合の方と調整を図って、あるいはもしかすると簡易テントであれば組合の方で許可が必要ないよということであれば早めに資材を調達してできるような方法で、私は取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願いたします。

○ 2番 座間味満議員

課長、ぜひできるように、確かに観光客も多くなってきているシーズンですから、もう9月、10月はそんなに暑くはないと思いますので、台風も多い時期になりますので、今日でもライナー集客数が那覇から125人ということで雨が降っていて、これ一緒ですよ、雨と太陽、雨の場合も隠れる場所がない、事務所もいっぱいしている、通路もテントもいっぱいしているということでもありますので、ぜひ早めに対応よろしくお願いたします。

それでは2番目に渡嘉敷のバースの天井部分について、いつ直すかお伺いします。これは3月定例議会にですね、玉城議員からもお話があったように、これまでに何度か入札され全部不調になっており、直接担当課、港湾課の長等を含め、屋根の部分だけでも早めの撤去をお願いしておりますが、なかなか進まないのが現状です。住民は勿論観光客の安心、安全を保つためにも令和6年度も早急に対応していただくように強く要望したいと思えます。ということで村長からの答弁だったんですが、3月の定例議会に村長覚えてますよね、これについて実際、ただ行って電話だけで話をしたのか、実際出向いて行って港湾課と話をしたのか、そのへんお聞きします。

○ 新里武広村長

この件につきましては、玉城議員からお話する前から沖縄県のほうとは調整しておりました。しかしながらなかなか進まなかったということもありまして、土木部長はじめ港湾課長もこの4月から変わったということがありまして、いろいろ担当課長も連れていろいろ協議してまいりました。その中で今回やっと入札等がだいぶ前から要望しておりましたけどこれは港湾の長寿命化ということで、なかなか入札も不調で終わっていたのがやっと落札する業者ができたということで、今現在やっているわけですけど、きちんと議員が何度も足を運んでどうにか改修に向けてというお話がされていまして、何度か足を運んで港湾課の課長の方も実際渡嘉敷のほうに来ていただいて、現場を見ていただいて今に至っているところでございます。

○ 2番 座間味満議員

村長、これ実際、話はあるんですけど、今屋根の部分で待合所の瓦修繕しているんですが、これと抱き合わせてやるということも聞いているんですけど、ここが終わってから実際ポンツーンにかかるのか、そのへんお聞かせください。

○ 新里武広村長

その予定で今進めております。工期が12月の末というふうに予定しております。詳細については課長の方から答弁させます。

○ 山城淳観光産業課長

ご質問にお答えいたします。先ほど村長からもございましたけど、既に発注のほうはされておまして、沖縄県南部土木のほうから発注されております。工程のほうを確認いたしましたら、今現在はターミナルの吹き抜けのほうを先にやっておまして、この後10月上旬頃から、浮き栈橋のほうの工事に入る予定であるということでお伺いしています。

○ 2番 座間味満議員

これですね、村長、同じ工法でやるのか、隣村は全然違うと思うんですよ。ポンツーンの屋根が腐食しないと、同じようなポンツーンになったら、また同じように修理して、同じ結果になると思うんです。そのへん県との調整が必要だと思うんですけど、どのようにお考えですか。

○ 新里武広村長

これまでの構造的なものからすると、かなり今の構造を修繕するだけではだめだとこちら側の要望のほうは県のほうにお話しております。このへんについても課長のほうから詳細について答弁させたいと思います。

○ 山城淳観光産業課長

一応詳しいことはまた私の方もはっきり述べられないんですが、基本的には長寿命化の工事ですので、現況復旧になると思います。現在の具材を一部取り替えたりとか、そういった補修の工事となっておりますので、基本的に構造が基本的なものから全て変わるということはないと思っています。

○ 2番 座間味満議員

これまた同じように腐食した場合には、また同じ結果になると思うんですよ、耐用年数今のあれで何年ぐらいですか。また同じ頃に同じような腐食がでてくると思うんですよ、もう少し考えた設計のやり方部品の取り替えというのにも必要じゃないかなと思いますけど、そのへん村長どのようにお考えですか。

○ 新里武広村長

渡嘉敷村としては今の構造だと、かなりいろいろ問題がありましたので、シンプルで、かつ管理がしやすいようにということで要望はしております。しかしながら県の発注工事ですので、県のほうでの対策といいますか、そんなふう到现在造られていると、設計のほうはされているというふうにお伺いしております。だから実質的に、先ほど観光産業課長が話したとおり、あくまでも長寿命化、今あるものを長く持たすようにという趣旨のもとでやっておりますので、こちらとしては要望としては上げているところではございます。

○ 2番 座間味満議員

結局、村長、同じようなかたちということになるわけですが、さっきも言ったとおり腐食は絶対おきてくると思いますので、調整できるなら、少し調整してですね、県と相談しながら。県が一方的に出るんじゃないくて、管理は村がやっているわけですよ、そのへん加味して村の意見も言ってですね、ちゃんと県との調整ができるように、ひとつ頑張ってもらいたいと思いますので、ひとつよろしくお願いします。

それでは、2番の質問に移りたいと思います。現在、嘉手苺の耕作放棄地についてなんですが、だいぶ耕作放棄地が多いんですけど、村長、農業委員会と調整したことはありますか、村長の考えをお伺いします。

○ 新里武広村長

今年に入って農業委員会の皆さんとまだ調整しておりません。ただし、第5次総合計画の中にもうたわれておりますように、農業生産基盤の充実と有効活用ということが第5次総合計画の中にはあります。特にその中で遊休農地、耕作放棄地の発生防止と再生、有効利用の促進をはかり優良農地を目指す取り組みを推進するという大きな目標があります。そのためには農業委員会及び関係機関と連携して情報共有しながら対応していくことが必要だというふうに望まれておりますので、それに向けて取り組んでいこうというふうに計画は立てておりますが、実際のところまだ今年度に入って農業委員会会議というのが開催できていない状況でございます。担当課におきましては早めに農業委員会を招集して、この対策についても検討するようというところで指示は出しております。

○ 2番 座間味満議員

村長、今の現状で、前々から話しているんですけど耕作放棄地、遊休農地、幹旋のことも私は話したつもりがあるんですけど、これも農業委員会とタイアップしながら幹旋して農業をやることを推進したことは、実際に掲示板に貼ったりとか、そういう行動に移した

ことはありますか。

○ 新里武広村長

まだそこまでは至っておりません。当然、大きな目標の中に、新規就農希望者等をどんどん増やしていかなければいけないというのがありますので、そういった大きい目標がありますので、それに向けて農業委員会の会議を開いて、良い策をねなければいけないのかなというふうに思っているところでございます。

○ 2番 座間味満議員

村長、今年になって新年度に入って農業委員会が一回も開催されていないと。農業委員会というのは我々と一緒に、議会と一緒になんですよ。これも全然動いていないということに関して非常に不審な点がありますけど、実際村長から、村長もさっき担当に話したとお聞きしたんですけど、もう少し突っ込んで話しする必要があるんじゃないかと私は思いますので、どっちみち私の考えなんですけれど、耕作放棄地どんどん増えてきますよ、どうにかしないと。もう農業をやっている人もだいぶ少なくなってきていますので、ごく限られていますよ。年寄りも最近畑で見かけなくなってきていますので、耕作放棄地はどんどん出てくると私は思っています。

それに関して、2番なんですけど、こういう耕作放棄地に多目的広場はできないのか。例えばパークゴルフ場とか、そのへんをつくるという考えはないのか、村長の考えを聞かせてください。

○ 新里武広村長

農地の利用といいますか、多目的広場等々については現在のところ検討していませんね、今転用の問題があったりだとか、どのように嘉手苜地区を活用できるのかということまではまだお話ができておりません。ただ、この嘉手苜地域を有効的に利用する、促進するという意味合いでも農業委員会等の意見を聞いた上で進めていくことになろうかと思えます。どうしても法律等がありますので、法律に違反しないようなかたちで進めなければいけないのかなというふうに思っているところでございます。

○ 2番 座間味満議員

村長、法律といいましたけど、駐在の後ろ側に独身寮がありますよね、アパート。あそこは畑なんですよ、元は、ここに団地ができています。これ転用といいますけど、農地法の第5条転用、これ行政がやることに関しては別に問題はないんですよ。例えば個人的にやるというんだったら、農地にお家を建てたりという場合に設計書からつくらんといかんと。じゃあ農業委員会に通らない場合には設計書が100万円かかった。これパーになってしまうわけですよ。だけど行政がやることに関しては全然大丈夫だと思いますので、私が農業委員会担当のときに農地法をちょっと勉強したんですけど、全然問題ないんじゃないかと思えますので、そのへんもっと詳しく調べて多目的広場ができるのならそれに活用したほうがいいんじゃないかと。今のままだったらスキが生えて全然使えなくなりますよ、

したらもう捨てるしかないですよ。まずこっちに地主というのがそんなにいないですから、そのへんも加味してよくお考えになっていただきたいと思います。

次3番、カジマヤーパレードについてなんですけど、来月の11日にパレード、村主催のカジマヤー祝いがあるんですけど、パレードとかが行うのか、そのへん村長、村主催ですから意見を聞かせてください。

○ 新里武広村長

来月のカジマヤーパレードについては、予定といたしましてはパレードを行うということでございます。詳細については民生課長のほうから答弁させます。

○ 新垣立德民生課長

カジマヤーパレードについてですけれど、詳細のほうなんですけれども、今考えておりますのが、今回、軽ワゴン車1台に本人と親族、介助者1名が同乗して行う予定です。今年度3名のカジマヤー対象者がおりますので、車両は3台で13時スタートで渡嘉敷集落内のパレードと予定しております。また、令和6年8月16日にこちら対象者の3名のご家族にもこのように行くと同様に説明しております。

○ 2番 座間味満議員

課長、今の答弁ですね、軽ワゴン車でやるということで、いろいろパレードだから本人の顔が見えるようにということで村民からのお願いもあるわけですよ。那覇からオープンカー借りてきたらどうかとかですね。やっぱり今年3名いるわけですから、戦前戦後と生きてきてカジマヤーを迎える。こういう先輩方がいるから今の渡嘉敷島があると思うんですよ。実際どんどんお年寄りも少なくなっている状況ですので、今3名とも非常に元気ですので、ひとついいパレードにさせていただくよう。前はトラックであったんですけど、現状として雨が降った場合に大変になりますので、いい方法があるんでしたらできたらレンタカー、オープンカー借りてきてできるんでしたやっってもらいたいというのが私と村民の考えですので、そのへんはご検討いただきたいと思います。

それに加えて、村主催で公民館で祝賀会もやるのか、そのへんお聞きします。

○ 新垣立德民生課長

公民館で行う村主催の祝賀会ですけれども、8月16日に対象者3名のご親族の方とお話したんですけれども、3名とも自宅でも祝賀会をするということで、公民館でやってまたお家でやるというのもちよっと負担が大きいということで、3名の意見を聞きまして、公民館での祝賀会はやらないということで決まりました。

○ 2番 座間味満議員

課長ありがとうございます。確かに本人の考えを重視しながら、確かに疲れます。私も前に教育委員会にいたときに85歳の合同成年祝いのときに、写真を撮って、祝い者のお家を回ったら、熱を出して寝てるとか、確かにそういうのが2、3件あったんですよ。確かに疲れますので、私は先輩方の気持ちを考えて、家でもやって公民館でもやったら確かに

疲れると思いますので、そのへんは非常にいい考えだと思いますので、ぜひ協力できる範囲は、本人たちのことは協力できる範囲はぜひ役場のほうは協力してあげるようひとつ私からもよろしくをお願いします。

最後に、村長の施政方針についてなんですが、達成度を伺いますとといったんですが、先ほど金城議員にほぼできたんじゃないかというお話があったんですけど、私のほうからは、本当に7つの施政方針を挙げて、実際半分できたのか、もう一度お伺いします。

○ 新里武広村長

先ほど金城議員からもありました今年度の施政方針の達成度ということなんですが、ハード面、道路の改良工事、災害工事等については、まだ着手できておりません。その他の事業については、ほぼ着手して今現在進行中ということでございます。

執行率はあくまでも予算ベースでの執行率になりますのであまり参考にはならないかと思いますが、今年度、取り組むべきなことについては既に着手しているとご理解願いたいと思います。

○ 2番 座間味満議員

村長、先ほど非常に財政的にも厳しいという村長からの答弁があったんですけど、確かに財政指標は0.10となっており、県平均の0.38を下回り、自主財源確保は必要不可欠となっているというふうな方針だったんですけど、これは前の定例議会で私のほうから入島税のことを話したので、そのへんも加味して、やっぱり財政的に厳しいんだったらそれなりの努力をしてほしいと思います。

それと、沖縄振興特別推進市町村交付金、一括交付金にあたるんですが、令和6年度について引き続き沖縄県による離島住民等交通コスト負担軽減事業による船舶運賃の低減、村が実施する事業として、観光総合推進事業、美化清掃事業、観光振興事業、海域安全確保事業、自動車航送コスト負担軽減事業といろいろありますけれど、これは一つも達成していないと私の考えなんですけれど、今の件に関して令和6年度の施政方針、今言ったことに関して何パーセント達成できているのかお聞きします。

○ 新里武広村長

この一括交付金事業につきましては継続事業が主な事業となっております。その内の10事業については今継続でやっているところでございます。その中の防災体制強化事業、これは今年度の大きな目玉の事業となっております、これは今契約を進めているところでございます。

○ 2番 座間味満議員

村長、防災体制強化事業をただいまやっているということで、他に自主防災組織が今できていますよね、今日も会議があるんですけども。そっちとうまく話し合いはしたことがありますか。あそこのほうでは要するに備蓄倉庫も見学したいという話も出ているんですけど、村としては防災体制強化事業というのほどのようなことを考えているのかお聞かせ

ください。

○ **新垣聡総務課長**

今年度の事業に関しましては、各家庭に現在付いている受信機ありますよね、防災無線の、それを新規に取り替えると、強化するということの事業をこれから行っていく予定です。

○ **2番 座間味満議員**

それはいつ頃から取り組む予定ですか。

○ **新垣聡総務課長**

既に契約を済んでいまして、来月頃から着手していくと思います。

○ **2番 座間味満議員**

来月から着手するという事ですので、できたら早めにやって、また次年度まで持ち越さないように早めに対応してもらいたいと思います。

時間があまりありませんので、最後に農業の振興について、先ほども言ったんですけれども、土地改良施設管理適正化事業に補助金や一括交付金を活用した土地改良実施農地周辺の環境整備を行ってまいりますというふうな村長の施政方針なんですけれども、これも実際に、今年も少なくなってきましたけれども、実際できるのかお尋ねします。

○ **新里武広村長**

策定計画等に今取り組んでいるところです。詳細については観光産業課長のほうから答弁させたいと思います。

○ **山城淳観光産業課長**

先ほどの一般質問にも関連するんですけれども、今後、渡嘉敷村の地域計画策定ということで農業に関するそういった策定業務がございます。これから今年度中に策定する予定で、これまでこういった計画等がなくてですね渡嘉敷村、これを策定することによって皆さん農業従事者の意見とか、そういった関係者の意見を聞きながら策定していく予定をしていますので、今後また農業委員会を中心に協力を求めることがあると思いますので、ぜひその際は協力をお願いしたいと思います。

○ **2番 座間味満議員**

これから策定していくということは間に合いますか、ちょっと難しいところがあるんじゃないかと私は思っていますけれども、お聞かせください。

○ **山城淳観光産業課長**

議員ご質問の件ですけれども、一応年度内の工程となっておりますので、受注が決まり次第年度末には策定を完了する予定であります。

○ **2番 座間味満議員**

年度内に完成、完了ということですので、ぜひ年度内に完了できるように、またひょっとしたら質問するかもしれませんが、村長もよく施政方針を眺めながら取り組むように。

最後になりましたけど、生活基盤の整備ということで、村道阿波連線改良工事についてなんですが、平成19年度から継続中の事業でありまして、令和5年度完了予定で取り組んでまいりましたが、入札不調により完了できませんでした。引き続き令和6年度の開通に向けて取り組んでまいりますというふうな村長の答弁なんですけれど、何も進展がないと私は思っていますけれど、実際開通できるのか、村長の考えを聞かせてください。

○ **新里武広村長**

道路の改修整備については、村道阿波連線は先ほど満議員がおっしゃっていたとおりかなり年月を要しております。その中で目標としては今年度開通ということで目標をもってやってまいりました。しかしながら7月に行いました一般競争については応札者がいなかったということで対応できませんでした。取り急ぎ、単価入れ替えを終わったところで、次の入札に向けて対応しているところでございます。近々入札に向けて準備をして入札してまいりたいと思っております。

○ **2番 座間味満議員**

毎年設計変更もありますよね、入札不調が多いですよ。これやっぱり単価も変わってきて、年に2回単価変わりますよね。このへんもよく調整しながらちゃんとした設計をやらないと絶対つながらないと私は思いますよ。村長はあそこを歩いたことありますか、もうアスファルトにひびが入っていますよ。そうなった場合に、開通前になったらまたアスファルトの引き直しをしないといけないと。そのへんよく考えてですね、十分行動に移してもらいたいので、施政方針を達成できるよう協力しますのでひとつ頑張ってくださいと思います。これで私の一般質問を終わります。ご答弁ありがとうございました。

○ **當山清彦議長**

これで2番座間味満議員の一般質問を終わります。

これで一般質問を終了します。

休憩します。

再開します。

日程第6、報告第7号、令和5年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ **新里武広村長**

報告第7号

令和5年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について

沖縄県町村土地開発公社の令和5年度の事業実績及び決算状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、別添のとおり報告する。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより報告第7号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第7、報告第8号、令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

報告第8号

令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

令和5年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の健全化判断比率及び同法第22条第2項の資金不足比率について、同法第3条第1項及び第22条第1項の規定により、監査委員の意見をつけて次のとおり報告いたします。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより報告第8号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第8、諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦について

下記の者を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項

の規定により議会の意見を求める。

記

住 所 渡嘉敷村字渡嘉敷 番地

氏 名 新垣 光枝

生年月日 昭和 年 月 日生

提案理由

人権擁護委員の任期が令和6年12月31日をもって満了することにもない候補者を推薦するため、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を聞く必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りします。

本件はお手元にお配りした意見のとおり答申したいと思えます。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。したがって諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦については、お手元にお配りいたしました意見のとおり答申することに決定いたしました。

日程第9、同意第2号、渡嘉敷村監査委員の選任についての同意を求める件を議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

同意第2号

渡嘉敷村監査委員の選任について

下記の者を渡嘉敷村監査委員に選任したいので、地方自治法第196条第1項の規定のよって議会の同意を求める。

記

住 所 渡嘉敷村字渡嘉敷 番地

氏 名 新垣 英光

生年月日 昭和 年 月 日生

提案理由

渡嘉敷村監査委員で識見委員の任期満了により、その後任を任命するため地方自治法第

196条第1項の規定により議会の同意を得る必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広
以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

以上で提案者からの説明を終わります。

これから同意第2号、渡嘉敷村監査委員の選任についての質疑を行います。
質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより同意第2号、渡嘉敷村監査委員の選任について採決いたします。

この採決は起立表決でおこないます。

本件は提案者の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

(起立全員)

議員総数5人のうち、賛成4名、反対0名、起立全員です。従って、同意第2号、渡嘉敷村監査委員の選任同意については、賛成多数にて原案のとおり可決されました。

日程第10、認定第1号、令和5年度渡嘉敷村一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

認定第1号

令和5年度渡嘉敷村一般会計歳入歳出決算の認定について

令和5年度渡嘉敷村一般会計歳入歳出決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけて議会の認定に付する。

提案理由

決算の認定については、地方自治法第233条第3項の規定により議会の認定に付する必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広
以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「休憩」の声あり)

休憩します。

再開します。

ほかに質疑はありませんか。

○ 3番 玉城保弘議員

一番気になるところは村税未済額、7ページ村税ですね、例年沖縄県の中でも1位2位を争う徴収率という我が島でしたけれども、今回の収入未済額、これは不納ではないんですよ、あくまでも未済額での346万8千円、これの原因等を少し説明お願いいたします。

○ 新垣聡総務課長

ご質問にお答えします。村税の中の村民税、住民税ですね、住民税の現年度分の未納件数が33件となっております。人数にして12人。過年度分の住民税、村民税なんですけれども、過年度分が28件、13人で28件となっております。その他、軽自動車税があるんですけども、軽自動車税の現年度分に関しましては10名で18件、軽自動車税の過年度分に関しましてそれが7名、14件という内訳になっております。

○ 3番 玉城保弘議員

今後、未済ですので、取れないというわけではなくて、今から回収するということですね。ぜひ頑張って回収へ。先ほどから申し上げますように公正・公平、すごく大事なところにかかってきます。

もう1件、歳出のほうで気になったのが、大枠でいきましょうね、総務費…、しばらくお待ちください。総務費の不用額、一番不用額で大きなところを占めておりました。5ページのほうで不用額で1千800万円近くあります。見たところあまりにもばらけてまして少し分かりづらかったので、原因等も少し含めて説明、違いますね、総務管理費のほうの説明をお願いいたします。大枠で構いません。

○ 當山清彦議長

休憩します。

再開します。

○ 新垣聡総務課長

ただいまの質問の不用額について大きい部分についてお答えしていきたいと思います。まず、人件費の補正予算に間に合わなかった人件費の減額の部分と、あとは工事請負費の執行残を補正で減額をしなかった分、あと委託料も同じくなんですけれども、事業の執行はしているんですが、その予算残を不用額として補正予算で減額しなかったというところが主な原因となっております。

○ 當山清彦議長

ほかに質疑はありませんか。

進行してよろしいでしょうか。

これをもって質疑を終結いたします。

これより認定第1号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第11、認定第2号、令和5年度渡嘉敷村航路事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

認定第2号

令和5年度渡嘉敷村航路事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和5年度渡嘉敷村航路事業特別会計歳入歳出決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけて議会の認定に付する。

提案理由

決算の認定については、地方自治法第233条第3項の規定により議会の認定に付する必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

休憩します。

再開します。

○ 當山清彦議長

ほかに質疑ありませんか。

これをもって質疑を終結いたします。

これより認定第2号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第12、認定第3号、令和5年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

認定第3号

令和5年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

令和5年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけて議会の認定に付する。

提案理由

決算の認定については、地方自治法第233条第3項の規定により議会の認定に付する必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広
以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。
質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。
これより認定第3号を採決いたします。
本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第13、認定第4号、令和5年度渡嘉敷村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

認定第4号

令和5年度渡嘉敷村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和5年度渡嘉敷村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけて議会の認定に付する。

提案理由

決算の認定については、地方自治法第233条第3項の規定により議会の認定に付する必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広
以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。
質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。
これより認定第4号を採決いたします。
本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第14、認定第5号、令和5年度渡嘉敷村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

認定第5号

令和5年度渡嘉敷村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和5年度渡嘉敷村下水道事業特別会計歳入歳出決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけて議会の認定に付する。

提案理由

決算の認定については、地方自治法第233条第3項の規定により議会の認定に付する必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより認定第5号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第15、認定第6号、令和5年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

認定第6号

令和5年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

令和5年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけて議会の認定に付する。

提案理由

決算の認定については、地方自治法第233条第3項の規定により議会の認定に付する必要がある。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより認定第6号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

休憩します。

再開します。

お諮りします。

本日予定していた議案審議はすべて終了しましたが、時間がありますので、明日審議予定の議案7件を日程に追加し、追加日程第1から第7として議題にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、議案第36号から第42号を日程に追加し、追加日程第1から第7として議題とすることに決定しました。

初めに、追加日程第1、議案第36号、渡嘉敷村国民健康保険条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第36号

渡嘉敷村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

渡嘉敷村国民健康保険条例の一部を改正する条例について、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

国民健康保険法の改正により令和6年12月2日以降、現行の被保険者証が発行されなくなることに伴い所要の改正が必要になった。

これが本案を提出する理由である。次のページから改正する内容があります。

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

○ 2番 座間味満議員

これ前から話をちょっと聞いたんですが、国民健康保険の廃止が、12月からなくなると。マイナンバーカード制になっていくと。実際、診療所でも今マイナンバーカードを使えるような機械を設置しているんですよ。これは実際、後期高齢は後期高齢でいくのか、それとも後期高齢に該当する方々もマイナンバーカードでやるのか、そのへんお尋ねします。

○ 當山清彦議長

休憩します。

再開します。

○ 2番 座間味満議員

先ほどの条例の改正についてなんですけれど、ちょっと私の誤解で訂正させていただきます。

○ 當山清彦議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第36号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

追加日程第2、議案第37号、令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算(第3号)についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第37号

令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算(第3号)について

令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算(第3号)を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算(第3号)

令和6年度渡嘉敷村一般会計補正予算(第3号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8千768万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億1千682万8千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予

算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

(地方債の補正)

第2条 地方債の変更は「第2表地方債補正」による。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「休憩」の声あり)

休憩します。

再開します。

ほかに質疑はありませんか。

○ 4番 金城渉議員

休憩中いろいろお話があったんですけど、その続きで、19ページの土木費の住宅建設測量設計委託料、住宅建設費の詳細を説明してもらえますか。

○ 山城淳観光産業課長

先ほども議論になりましたけれども、こちらは村営住宅の委託費の件ですけど、設計のほうですね、令和2年度まで設計に基づいて発注をしておりましたが、入札不調によりこれまで落札しておらず工事がされておられません。その当時の設計書をもとに今回設計を組み直すという作業をいたします。それに基づいて新たな設計書を作成して、予定では来年度に向けての工事費を積算するための設計委託の補正となります。

○ 4番 金城渉議員

場所とか、どこの場所なのか。令和2年度から、要するに寝かしている土地ということですよ。そのへんお願いします。

○ 山城淳観光産業課長

今ご質問ありました件ですけども、番地が私も定かではないんですけど、屋号で申し上げますけれど、ナカジョウという場所ということになっています。ちょうど伊江島の碑の近くの角隣りといいますか、そちらの用地を予定しております。

○ 4番 金城渉議員

これは令和2年度から寝かしているということですよ、今回造ると。令和2年度から計画している事業、これ予算書とかに継続事業として載っています？ 補正で今回上げたということでしょうかね。

○ 新里武広村長

当初は令和2年度に設計はしておりました。それから数年も経つものですから材料費等の高騰等々もありまして、積算単価の入れ替え等もありましたので、それを考慮した上で

設計単価の見直しがあって、これを計上したということでございます。

○ 當山清彦議長

ほかに質疑ありませんか。

(「休憩」の声あり)

休憩します。

再開します。

ほかに質疑ありませんか。

これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第37号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

追加日程第3、議案第38号、令和6年度渡嘉敷村航路事業特別会計補正予算(第2号)についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第38号

令和6年度渡嘉敷村航路事業特別会計補正予算(第2号)について

令和6年度渡嘉敷村航路事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村航路事業特別会計補正予算(第2号)

令和6年度渡嘉敷村航路事業特別会計補正予算(第2号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9千891万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億7千697万3千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「休憩」の声あり)

休憩します。

再開します。

ほかに質疑はありませんか。

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第38号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

追加日程第4、議案第39号、令和6年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第39号

令和6年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

令和6年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

令和6年度渡嘉敷村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2千218万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億4千441万6千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

よろしいですか。

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第39号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することのご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

追加日程第5、議案第40号、令和6年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第40号

令和6年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

令和6年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

令和6年度渡嘉敷村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ594万6千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第40号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました

追加日程第6、議案第41号、令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算(第3号)

についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第41号

令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第3号）について

令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第3号）を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計補正予算（第3号）

第1条 令和6年度渡嘉敷村簡易水道事業会計の補正予算（第3号）は第2条から第4条に定めるところによる。

令和6年9月11提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議を願いたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

よろしいですか。

（「休憩」の声あり）

休憩します。

再開します。

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第41号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

追加日程第7、議案第42号、令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第3号）についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。

○ 新里武広村長

議案第42号

令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第3号）について

令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第3号）を定めることについて、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を求める。

提案理由

予算を定めることについては、地方自治法第96条第1項第2号の規定により議会の議決を必要とする。

令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第3号）

第1条 令和6年度渡嘉敷村下水道事業会計補正予算（第3号）は、第2条から第3条に定めるところによる。

令和6年9月11日提出 渡嘉敷村長 新里武広

以上、ご審議をお願いいたします。

○ 當山清彦議長

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより議案第42号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

お諮りします。

会議規則第45条の規定により、令和6年第4回渡嘉敷村議会定例会において議決された事件の条項、字句、数字、その他の整理を議長に委任することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。したがって、本定例会において議決された事件、条項、字句、数字、その他の整理を議長に委任することに決定しました。

お諮りします。

本定例会会議に付された事件は全て終了しました。

これで本日の会議を閉じます。

令和6年第4回渡嘉敷村議会定例会を閉会いたします。

（閉会 午後3時26分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

渡嘉敷村議会議長

署名議員（議席番号1番）

署名議員（議席番号2番）